

外国人留学生誘致検討調査業務
事業報告書

株式会社 KITABA

目 次

0. 調査概要	1
1. 外国人留学生ヒアリングのまとめ	
（1）外国人留学生ヒアリングの概要	2
（2）札幌圏内大学留学生ヒアリングまとめ	5
（3）札幌圏外大学（名古屋大学）留学生ヒアリングまとめ	11
（4）札幌圏外大学（九州大学）留学生ヒアリングまとめ	15
2. 札幌市と他都市との比較	
（1）外国人留学生の当地選択理由および札幌非選択理由	20
（2）留学に関する情報の入手経路	24
（3）外国人留学生の生活課題	26
（4）就職意識・進路	26
3. 札幌における留学生受け入れ等の状況から見た課題	
（1）各種データから見た課題	31
（2）留学生受け入れから見た課題	36
（3）卒業後の就職希望状況から見た課題	39
4. 札幌市における留学生誘致受入促進への基本的方向性	
（1）「留学生 30 万人計画」と「札幌市での留学生支援」の位置づけ	48
（2）目標を達成するための基本的方向性	50
（3）目標を達成する推進組織の必要性	51
【参考】福岡県の事例	53
5. 資料集	54

0. 調査概要

(1) 事業名

外国人留学生誘致検討調査業務

(2) 業務の目的

外国人留学生の来日経緯や日本での生活状況、就職に関する意識等を調査し、外国人留学生の傾向分析やニーズの把握を行う。

また、市内企業の留学生に関する意識調査と分析結果等とあわせ、本市が実施すべき誘致から就業までの総合的な施策構築の検討を行うための基礎資料をする。

(3) 業務内容

- ① 札幌圏内外国人留学生ヒアリング調査
- ② 札幌圏外外国人留学生ヒアリング調査
- ③ 調査結果にもとづく分析・考察
- ④ 誘致から就職までの総合的な施策に関する提言
- ⑤ 報告書の作成

(4) 業務期間

契約締結から平成 27 年 3 月 31 日まで

1. 外国人留学生ヒアリングのまとめ

(1) 外国人留学生ヒアリングの概要

① ヒアリング実施概要

ヒアリングは、札幌圏内大学として「北海道大学」及び「札幌大学」、札幌圏外大学として「名古屋大学」及び「九州大学」の外国人留学生を対象として実施した。

1) 札幌圏内大学

■北海道大学ヒアリング調査

会場：Sapporo Café（札幌市北区北8条西5丁目2-3）

	実施日	時間	参加国	参加人数
1	平成26年10月23日	18:00～19:30	中国	7人
2	平成26年10月24日	18:30～20:00	イラン、トルコ、アゼルバイジャン、ロシア、インド	5人
3	平成26年10月27日	18:00～19:30	インドネシア	7人
4	平成26年10月27日	18:00～19:30	韓国	5人
計				24人

■札幌大学ヒアリング調査

会場：札幌大学

	実施日	時間	参加国	参加人数
1	平成27年2月5日	18:00～19:30	中国	6人
計				6人

2) 札幌圏外大学

■名古屋大学ヒアリング調査

会場：名古屋大学国際教育交流センター

	実施日	時間	参加国	参加人数
1	平成26年11月14日	18:15～19:45	中国	7人
2	平成26年12月12日	18:30～20:00	韓国	5人
3	平成26年12月12日	18:00～19:30	香港、インドネシア、タイ、ブラジル、スエーデン、タイ、ミャンマー、インド、ポーランド	10人
4	平成26年12月12日	18:00～19:30	トルコ、インドネシア、カンボジア	3人
計				25人

■九州大学ヒアリング調査

会場：九州大学箱崎キャンパス国際部 2 階 ブランチオフィス

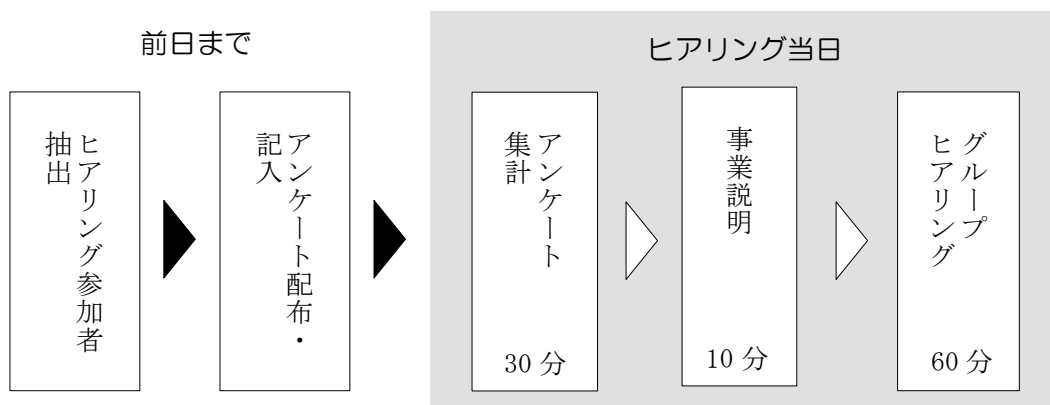
	実施日	時間	参加国	参加人数
1	平成 26 年 12 月 17 日	18:00～19:30	韓国	5 人
2	平成 26 年 12 月 18 日	13:00～14:00	インドネシア、ミャンマー、ベトナム、タイ、フィリピン、台湾	8 人
3	平成 26 年 12 月 18 日	14:10～15:10	ネパール、バングラデシュ、スロバキア 韓国、インド、アメリカ	10 人
4	平成 26 年 12 月 18 日	15:20～16:30	中国	9 人
5	平成 26 年 12 月 18 日	16:40～17:40	中国	7 人
			計	39 人

②調査の方法

外国人留学生へのヒアリング調査では、各大学にて、中国、韓国、インドネシア出身者を必須として、ヒアリングに参加可能な学生を抽出した。それらの学生にアンケート用紙を配布し、記入後持参して頂いた。

アンケートでは、留学前に思っていたイメージや感じていたこと、北海道・札幌に来てから感じていることなどを記入し、それをもとにグループ形式でのヒアリング調査を実施した。

グループヒアリングでは、円滑な進行のためファシリテーターを配置し、アンケート項目に沿ったヒアリングを行った。



③調査表の概要

アンケート調査表は、以下の趣旨のもと製作した。

- ・ 外国人留学生が、どのような動機で、何をきっかけに留学をしたのかを知ること、
当地に留学してくる学生の実態を把握する。

問 あなたは、なぜ日本を選びましたか？
問 あなたは、なぜ自身の大学（札幌・名古屋・福岡）へ留学しようと思ったのですか。

- ・ 留学生がどのような段階を経て留学情報を得ているかを知ること、どのような時期に、どのような媒体で、どこにアプローチをするのが効果的なプロモーションなのかを明らかにする。

問 あなたが留学したいと考えて、一番初めに情報を得たところはどこですか？
問 留学について検討している際に、どのようにして情報収集を行っていましたか？ また、最終的に留学を決定づけた情報はどのようなものでしたか？

- ・ 留学生が札幌の街の何に魅力を感じているのかを把握することで、今後札幌市のホームページや誘致パンフレットなどで生活面から札幌の魅力を PR していく際に、留学生目線で発信できるようにする。

問 学業以外で留学生活に求めることは何ですか？

- ・ 留学中に感じている悩みや問題などを把握することで、今後札幌市が取るべき生活支援策の検討材料とする

問 留学前、留学先の生活でどのような不安を感じていましたか？
問 現在、住んでいるところは、どのようにして見つけましたか？
問 現在、留学中の生活にどのような課題や不安、不便に感じていることがありますか？
問 現在、1ヶ月の生活費はいくらくらい掛かっていますか？

- ・ 留学生のスキルや就職意向等を把握し、留学生が札幌に就職してもらうために札幌市が取るべき新たな施策の検討材料とする。

問 卒業後の進路はどのように考えていますか？またその理由を教えてください。
問 就職を希望する業種は何ですか？
問 就職活動に際し、どのような情報を提供して欲しいですか？

(2) 札幌圏内大学留学生ヒアリングまとめ

①札幌市（北海道大学・札幌大学）ヒアリング参加者一覧

【第1回】北海道大学 中国人留学生 7名

平成26年10月23日（木）19:00～20:30

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	院生・学部生・研究生	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関(自国の機関)
成都市	女	25	文学研究院	人間システム科学	修士1年	修士	2年	2年6ヶ月	Sichuan Normal University
山東省	女	24	教育学院	中日比較文学	修士2年	修士	2年	2年	Shandong Agricultural University
河南省	女	24	教育学院	多元文化教育論講座	修士2年	修士	2年	2年	東南大学
成都市	男	26	情報科学研究科	システム情報科学	博士1年	博士	1年	3年	四川大学
浙江省	男	26	環境科学院	環境起学	修士1年	修士	1年	3年	華北電力大学(北京)
広州	女	22	地球環境科学院	実践環境科学コース	研究生	研究生	1ヶ月	1年	北京師範大学珠海分校
河北省	女	23	北海道大学	環境	研究生	研究生	1ヶ月	1年	雲南大学滇池学院

【第2回】北海道大学 その他の国の留学生

平成26年10月24日（金）19:00～20:30

出身国	地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	院生・学部生・研究生	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関(自国の機関)
イラン	テヘラン	女	25	工学部	電子情報	修士1年	修士	3年	7年	宇部高等専門学校(山口県)
トルコ	サムスン	男	27	文学研究科	日本史学講座	博士3年	博士	4年	4年	アンカラ大学 修士課程
アゼルバイジャン	Baku	男	26	文学研究科	歴史地域文化学	修士2年	修士	2年6ヶ月	2年8ヶ月	バクー国立大学
ロシア	Sakhalin	女	19	HUSTEP student	-	研究生	研究生	1ヶ月	6ヶ月	Sakhalin State University
インド	Madhya Pradesh	男	28	工学研究科	機械工学(Robotics)	博士3年	博士	3年6ヶ月	3年6ヶ月	Pune University, Pune, India

【第3回】北海道大学 インドネシア人留学生

平成26年10月27日（月）19：30～21：00

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	院生・学部生・研究生	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
Jawa Timur	男	21	生物科学	植物生態学	研究生 1年	研究生	2ヶ月	2ヶ月	Universitas Gadjah Mada
Bandung	男	24	環境科学院	環境開発研究	修士 1年	修士	4ヶ月	4ヶ月	ITB Indonesia
Bogor, West Java	女	26	地域科学	環境社会学	研究生 1年	研究生	2ヶ月	2ヶ月	Bogor Agricultural University, Indonesia
Semarang	女	24	文学研究科	人間システム科学	修士 2年	修士	2年2ヶ月	2年2ヶ月	Bogor Agricultural University Indonesia
Jakarta	女	26	農学部	生化学	博士 1年	博士	2年2ヶ月	2年2ヶ月	Atma Jaya Catholic University
Bogor, West Java	女	25	環境科学	地球環境マネジメント	修士 1年	修士	2ヶ月	2ヶ月	Bogor Agricultural University, Indonesia
Yogyakarta	女	23	環境科学院	環境開発研究	交換留学生 8月～翌4月	交換留学	2ヶ月	2ヶ月	Lampung University

【第4回】北海道大学 韓国人留学生

平成26年10月28日（火）19：30～21：00

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	院生・学部生・研究生	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
世宗	女	23	理学研究院自然史科学院	海洋気候物理学研究室	博士 1年	博士	1ヶ月	1ヶ月	ソウル大学
仁川	男	20	日韓交換留学生	工学部	日本語・日本文化	入学前	1ヶ月	1ヶ月	高校（韓国）
ソウル	男	18	日韓交換留学生	応用理工系学科	日本語・日本文化	入学前	1ヶ月	1ヶ月	高校（韓国）
大邱	男	31	教育学部	－	2年生	学部	1年10ヶ月	5年	大阪 YMCA 国際専門学校進学日本語学科
仁川	女	24	国際広報メディア・観光学院	観光創造	修士 1年	修士	2年	2年	東国大学校（韓国）

【第5回】札幌大学 中国人留学生

平成27年2月5日（木）18:30～20:00

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	院生・学部生・研究生	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
遼寧省	女	21	経済学部	経済学科	1年	学部	1年	1年	大連外国語大学
遼寧省	女	22	経済学部	経済学科	1年	学部	1年	1年	大連外国語大学
遼寧省	男	23	経済学部	経済学科	2年	学部	2年	2年	大連外国語大学
遼寧省	女	21	文化学部	文化学科	1年	学部	1年	1年	大連外国語大学
広東省	女	22	文化学部	文化学科	1年	学部	1年	1年	惠州学院
河北省	女	22	文化学部	文化学科	1年	学部	6ヶ月	6ヶ月	天津外国語大学

②ヒアリング内容の整理

1) 北海道・札幌を知ったきっかけ

中国では、ヒット映画による周知で観光地としても一般的であるが、韓国・インドネシア・中東では札幌の認知度は低い。

- 中国では、小樽を舞台にした映画「love letter」と知床を舞台にした中国産の「If you are the one」という2つの映画が人気であり、北海道や札幌などについて関心を持つようになったという声が多かった。
- 韓国では、日本の地名として認知されているのは、東京、大阪がほとんどで、北海道は「北の方にある広い土地」程度の認知で、札幌のことはあまり知られていない。また、札幌は「北海道」のイメージがあり田舎だと思っていたが、来てみると意外と都会であったとの声もあった。
- 認知のきっかけとしては、韓国で開催されたソウル大学と北大のシンポジウム時や、大学の教授を通じてなど、大学関係者の紹介によるところが多い。
- インドネシアでは、札幌や北海道、北海道大学は殆ど知られておらず、観光地としても認知度は低い。
- 北海道大学のPAREプログラム(国際連携教育システム)やHUSTEPプログラム(短期留学)を通じた留学生が多かった。
- 中東の国々では、北海道・札幌のことはあまり知られていないが、大学教授や親族など身の回りからの口コミが多いようであった。
- 一方で、ロシア・サハリン出身者（1名）は、地理的な環境からも認知度は高く、小さい頃から北海道について聞かされていたとのことであった。

2) 留学先として北海道・札幌を選んだ理由

【学業・研究の分野における北海道・札幌】

インドネシアや理系の中国の学生には、北海道大学の人気は高いが、学歴重視の韓国や中国では「北大ブランド」の効力は弱い。

- ・ アンケートでは、中国人留学生の約半数（7人中4人）は、北海道大学を目的に留学先を決めたとの回答があったが、ヒアリングでは欧米大学の人気が高かった印象がある。
- ・ 特に環境科学分野においては、日本が最先端であるとの声もあった。
- ・ 韓国では学歴社会が顕著であり、留学先の学力レベルや認知度が重要視されるため、韓国であればソウル大学、留学するなら欧米が人気で、日本であれば東京大学に行くのがステータスとなっている。
- ・ そのため、北海道に来ている学生は、目的の教授や分野があった学生や、自国における学力判定で北海道大学が適しているとの判定があった学生が多かった。
- ・ インドネシア人のヒアリング参加者全員が理系分野（農学、環境科学など）の学生多かったことから、北海道大学を目的に留学を決めた学生が多い。
- ・ なお、ヒアリング参加者全員が INPEX 奨学金財団や日本政府（文部科学省）、JASSO から奨学金を受けていた。
- ・ 今回のヒアリング参加者は、自国の大学に北海道大学卒の教授がいたり（トルコ・アンカラ大学）、兄弟が北海道大学の留学経験があったり、自国で日本文化を専攻していたなど、独自のコネクション環境がある学生であった。

【留学時の異文化体験先としての北海道・札幌】

北海道・札幌には、本州とは異なるまち並みやひと、自然の魅力を感じている。また、標準語に近い言語の優位性がみられる

- ・ まちがきれいで、自然が美しいとの評価が高かった。市民は外国人にとっても優しいと、全員一致で声が上がっていた。その理由としては、東京や大阪と比べて、札幌には外国人が少ないことから、慣れていない反面、丁寧な対応となると考えられる。
- ・ 本州と比較して、建物の形が違っており、和風というよりもヨーロッパやロシアのような印象を受けるとのことである。
- ・ 札幌は標準語に近い日本語であり、東京と比べても家賃や生活費が安いと、語学留学先としても魅力的と考えている。
- ・ 自然の景色、まちの清潔感など環境の評価は高い。しかし、ゴミ箱の少なさに困惑していた。
- ・ 札幌はそれほどぎやかな街ではないと思っているが、ある程度娯楽施設などもあり、簡単に遊べる場所を探し出せるのはよい。
- ・ 冬はとても寒くて、長いのは、大変つらい。しかし、その一方で、夏は素晴らしい。とて

も過ごしやすい。

- ・ 勉強するためには良い場所であると言えるが、遊べるためにベストなところではない。そもそも遊べる場所が限られており、少ない。
- ・ ウィンタースポーツは、費用がかかりなかなか遊ぶことができない。

3) 留学生の生活面での北海道・札幌

都市規模が思ったほど大きくないとの意見が多かったが、暮盤の目でできたまちや地下鉄のわかりやすさ、札幌市民の温かさが高評価である反面、英語の浸透率の低さ、ハラル対応の整備不足などの課題が指摘された。

- ・ 札幌は人が少なく、とても静かな町であることに感動している。また、ストレスも少ない。
- ・ 冬の寒さは厳しいが、自然は豊富で恵まれていて住みやすい。
- ・ 中国では、北海道のチーズ、牛乳製品などは高い評価を受けていて、認知度が高い。
- ・ 辛い食べ物が少ない。日本の中華料理屋が出している料理は、中国人にとって本当の中華料理ではない。日本の調味料がよく使われているから、日本の味がする。
- ・ 東京の人と比べ、札幌の人のほうが真面目である。
- ・ まちがとてもきれいで、道路も暮盤の目に整備されていて、大阪と東京と比べてわかりやすい。札幌の地下街もあり、特に冬には助かる。
- ・ 区役所や銀行などに、英語できるスタッフはほぼいないため、一人で行くと手続きなど大変苦労する。
- ・ 北大は、町の中心部にあり、どこに行くにも利便性が高い。東京など、ほかの都市にある大学の場合、キャンパスは町中から離れていて、キャンパスから町の中心部に行くために、1時間～2時間かかるので、北大は勉強する上でも生活する上でも、非常に恵まれている。
- ・ 札幌在住のイスラム教徒としては、モスクもあるし、大丸など大きなデパートなどには、お祈りするための場所が作られていて助かるが、その一方で、ハラルフードが販売される店の少なく、メニューも日本語表記のみなど、一般の飲食店レベルでのハラル対応の整備がされていない。
- ・ 大通公園では、イベントが多く開催されているが、告知は英語でも行われているが、開催地での英語表記の説明はなく、情報が伝わってこない。
- ・ 外国人留学生に対する寮の数が限られており、北海道大学はすべての学生に寮で空部屋を確保していない。また、マンションの場合であっても、外国人にはなかなかマンションを貸してくれない人が多い。
- ・ 札幌は北海道大学があつて、勉強や研究するためには、とてもよい環境は作られているが、キャリアの面で考えると、札幌はまだまだ遅れている。だから、卒業後、本州か海外への就職先を選んでいく。
- ・ 中東エリアと比べ、果物や野菜がとても高価で、全く食べていない留学生も数多くいる。

③札幌圏内大学 留学生ヒアリングのまとめ

- ・ 北海道・札幌の認知度は、中国ではヒット映画による周知で観光地としても一般的であるが、韓国・インドネシアや中東では日本の印象はあるものの札幌の認知度は低いとの意見が多かった。
- ・ 北海道・札幌を選んだ理由として、自身の大学が目的であったとの回答が半数程度あった。また、インドネシアや理系の中国の学生には、北海道大学の人気は高い一方で、学歴重視の韓国や中国では「北大ブランド」の効力は弱いとの意見が聞かれた。
- ・ 生活面については、都市規模が思ったほど大きくないとの意見が多かったが、碁盤の目でできたまちや地下鉄のわかりやすさ、札幌市民の温かさが高評価であった。しかしながら、銀行や郵便局などにおいても英語の浸透率が低いとの指摘があった。イスラム教徒のハラール対応など一部の施設では整備されているものの、市全体でみると多くの施設で整備が不十分であるなどの課題が指摘された。
- ・ 北海道・札幌の留学におけるメリットとして、本州とは異なるまち並みやひと、自然などに魅力を感じている。また、札幌は標準語に近い言語が使われているので、語学習得についての優位性がある。

(3) 札幌圏外大学（名古屋大学）留学生ヒアリングまとめ

①名古屋市（名古屋大学）ヒアリング参加者一覧

【第1回】名古屋大学 中国人留学生 7名

平成26年11月14日（金）18:15～19:45

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	名古屋滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関(自国の機関)
安徽省	女	23	国際言語文化研究科	多元文化専攻	修士1年	1年	1年	北京第二外国語学院
広東省	女	23	国際言語文化研究科	多元文化専攻	修士1年	1年	1年	広東外語外貿大学
遼寧省	女	24	情報科学研究科	情報システム学専攻	修士1年	1年	1年	大連外国語大学
浙江省	男	27	医学系研究科	総合医学専攻	博士2年	2年	2年	山西中医学院
湖南省	女	24	文学研究科	言語学	修士1年	1年	1年	天津外国語大学
江蘇省	女	23	教育発達科学研究科	教育科学専攻	修士1年	1年	1年	南京林業大学
安徽省	女	24	環境研究科	都市環境専攻	修士1年	1年	1年	池州学院

【第2回】名古屋大学 韓国人留学生 5名

平成26年11月14日（金）18:15～19:45

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	名古屋滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関(自国の機関)
ソウル	女	22	経済学部	経営学科	学部4年	4年	4年	チヨドン高等学校
ソウル	男	21	文学部	心理学	学部4年	4年	4年	
ヨンジュ	男	23	工学部	機械航空工学科	学部4年	4年	4年	慶熙大學国際教育院
スウォン	男	20	工学部	科学生物工学科	学部1年	1年	1年	慶熙大學国際教育院
デグ	女	22	工学部	物理工学科	学部3年	3年	3年	慶熙大學国際教育院

【第3回】名古屋大学 その他の国の留学生 10名

平成26年12月12日（金）

出身国	地方	性別	年齢	所属	専攻	名古屋滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
香港	ホンコン	女	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	香港城市大学
インドネシア	スマラン	男	27	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	3年2ヶ月	ディアンススワイトロ大学
タイ	バンコク	男	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	タマサート大学
ブラジル	サンパウロ	女	23	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	サンパウロ州立パウリスタ大学
スウェーデン	ストックホルム	男	23	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	ストックホルム大学
タイ	バンコク	女	20	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	アダムミッキエブエチ大学
ミャンマー	ヤンゴン	女	19	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	ヤンゴン国際言語大学
インド	デリー	男	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	ネール大学
ポーランド	グダニスク	女	22	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	アダムミツキェブイチ大学
インドネシア	ジャカルタ	女	21	ILC	日本語・日文科コース	3ヶ月	3ヶ月	ダルマプルサダ大学

【第4回】名古屋大学 その他の国の留学生 3名

平成26年12月12日（金）

出身国	地方	性別	年齢	所属	専攻	名古屋滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
トルコ	イスタンブール	女	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学
インドネシア	バンドン	男	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	パジャジャラン大学
カンボジア	プノンペン	男	21	ILC	日本語・日文科コース	2ヶ月	2ヶ月	王立プノンペン大学

②ヒアリング内容の整理（名古屋大学）

1) 愛知県・名古屋を知ったきっかけ

中国人は日本のアニメから認知し、トヨタをはじめとした工業都市イメージが浸透している。

- ・ 中国出身者には、日本のアニメを好きな学生が多く、影響を受け日本に行ってみたいと思っていた。
- ・ 自国のテレビ番組を見て知ったが、海沿いの街のイメージでいた。
- ・ 南京と名古屋は姉妹都市であるため、知っていた。両者の気候や雰囲気、都市規模などがよく似ている。
- ・ TOYOTA がある工業都市のイメージがあり、日本3大都市の一つだと聞いていた。
- ・ 2009 年頃にテレビ番組の中では名古屋という字がとても多く影響を受けた
- ・ 日本のどこでも良かったが、首都圏より物価が安く、関東関西へのアクセスが良いことが決め手になった。

2) 留学先として愛知県・名古屋を選んだ理由

【学業・研究の分野における愛知県・名古屋】

医学分野での日本の先進性や、名古屋大学の持つ「ブランド力」を重視して専攻した学生が多い印象であった。

- ・ 医学部を志望していた学生は、日本の医学の先進性や医学分野における一定の位置づけを持つ名古屋大学を選んだ。
- ・ 日本へ留学するのであれば、有名な大学に進学したかった
- ・ 日中文化交流活動を行っていた際に、名古屋大学生と知り合い良い経験をしたため、名古屋大学に行きたいと思った。
- ・ 希望の学部や学びたい教授がいたために名古屋大学を選んだ。

【留学時の異文化体験先としての愛知県・名古屋】

英語で研究や授業が進められるため、学業に支障はない反面、日本語の習得が進まないなどの課題がある。

- ・ 研究室では授業も英語で行われているため、学業には支障はないが、日本語を勉強することも留学の目的であるため、日本語を話す機会が少ないことに困っている。
- ・ 名古屋飯が美味しいので家族や友人が来た際には、色々なレストランへ連れて行きたい。
- ・ 観光地としては、余り見るところがなく、親族や友人が来た場合、大阪や京都、東京に連れて行くことが多い。週末、時間をもてあますこともある。

【北海道・札幌を選ばなかった理由】

アジア圏からの距離や交通費、東南アジア圏との環境の違いなどの立地・環境の問題と、語学分野などの選択肢の少なさなどの理由が聞かれた。

- ・ 留学を検討した当初は、北海道大学も候補に入っていたが、自国からの交通費の高さや就職先の少なさを考えた結果候補から外れた。
- ・ 東南アジア出身であるため寒さに弱いので、生活することは考えられなかった。
- ・ 日本語を活かして通訳をやりたいが、言語学の科目が少ない

3) 留学生の生活面での愛知県・名古屋

奨学金の制度によってアルバイトができず、金銭的な問題や交友関係の拡大が望めないなどの課題が聞かれた。

- ・ 奨学金の制度によりアルバイトが禁止であるため、生活資金が厳しいことと、日本人の友人を作ることができないなどの問題がある。
- ・ 地下鉄の料金が高く、交通費がかさんでいる。
- ・ 留学前は、家族と住んでいたため、食事や家事などすべて自分でやらなければならないのが大変。また、自国ではゴミの分別の習慣がないので、負担となっている。
- ・ 大学の研究や専門知識の難解さが課題となっている。

③名古屋大学 留学生ヒアリングのまとめ

- ・ 中国人留学生の何人かから日本のアニメから日本を認知したと聞かれた。また、名古屋のイメージとしては、トヨタをはじめとした工業都市イメージが浸透しているようである。
- ・ 医学分野においては、日本の研究の先進性が有名であり、日本の国立大学の中でも、名古屋大学の持つ知名度などの「ブランド力」を重視した学生が多くいた。
- ・ コミュニケーションの課題として、英語で研究や授業が進められることや、奨学金の制度上アルバイトが禁止であるため、日本人との交流の機会が少ないことで、日本語の習得が進まないなどの課題が聞かれた。
- ・ 北海道・札幌を選択しなかった理由としては、アジア圏からの距離や交通費、東南アジア圏との寒い気候である環境の違いなどの立地の問題が大きいようである。また、語学習得のため留学してきている学生は、日本語習得分野の選択肢の少なさなどの理由が聞かれた。

(4) 札幌圏外大学（九州大学）留学生ヒアリングまとめ

①福岡市（九州大学）ヒアリング参加者一覧

【第1回】 韓国人留学生 7名

平成26年12月17日(水)18:00～19:30

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	福岡滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関 (自国の機関)
釜山	男	33	芸術工学府	芸術工学	博士1年	1年	3年	慶星大学大学院
デグ	女	23	芸術工学府	芸術工学	研究生	9ヶ月	9ヶ月	称明大学
ソウル	男	24	芸術工学部	芸術情報設計学科	学部2年	2年	2年	信一高等学校
ソウル	男	31	統合新領域学府	ユーザー感性学	修士2年	3年	4年	西江大学
水源	女	31	統合新領域学府	ユーザー感性学	修士1年	1年	2年	順天郷大学

【第2回】 その他の留学生 8名

平成26年12月18日(木)13:00～14:00

出身国	地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	札幌在籍年数	日本在籍年数	直前の在籍機関 (自国の機関)
ミャンマー	ヤンゴン	女	37	生物資源環境科学府	食品流通研究室	博士3年	2年2ヶ月	2年2ヶ月	Yazin Agricultural University
ミャンマー	タージ	女	28	生物資源環境科学府	植物育種学	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	University of Philippines
ベトナム	ホーチミン	女	24	法学府	公法・社会法学	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	University of Economic and Law
ベトナム	ハノイ	女	23	工学部	土木工学	学部4年	3年	3年	Hanoi High school
タイ	バンコク	女	25	法学府	法学	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	Chulalong Korn University
フィリピン	マニラ	男	31	法学府	国際関係法学	修士1年	2ヶ月	2ヶ月	University of The Philippines
インドネシア	パダン	女	34	工学府	コンクリート工学	博士1年	1年	3年	埼玉大学
台湾	台北	男	26	芸術工学府		大学院研究生	2ヶ月	4ヶ月	台湾国軍(兵役)

【第3回】その他の留学生 7名

平成26年12月18日（木）14：10～15：10

出身国	地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	札幌 在籍 年数	日本 在籍 年数	直前の在籍 機関（自国の 機関）
ネパール	ジャナク プル	女	31	農学部	生命機能 科学専攻	学部特 別聴講 学生	3年	3ヶ月	Bangladesh Agriculture Universuty
バングラデ シュ	ミメンシ ング	女	32	農学府	農業環境 科学	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	Bangladesh Agriculture Universuty
スロバキア	バンスカ ー・ピスト リツァ	男	25	法学府	国際関係 法学	修士1年	2年6 ヶ月	2年6 ヶ月	Tilburg University
韓国	ソウル	男	27	医学系学 府	医用量子 線化学	博士1年	1年2 ヶ月	1年2 ヶ月	Korea University
インド	パトナ	男	34	工学府	地球工学	博士1年	1年	1年	Indean Ins titute of Technology
インド	ジャール カンド	女	30	工学府	地球工学	博士1年	1年	1年	Indean Ins titute of Technology
アメリカ	ホノルル	男	33	法学府	国際関係 法学	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	University of Hawaii

【第4回】 中国人留学生 9名

平成26年12月18日（木）15：20～16：20

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	福岡 滞在 年数	日本 在籍 年数	直前の在籍機関 （自国の機関）
山東省	女	25	生物資源環境 科学府	農業資源経済 学	博士1年			Zhejiang University
遼寧省	女	22	芸術工学府	芸術工学部	大学院研 究生	2ヶ月	2ヶ月	河北大学
山東省	女	27	比較社会文化 学府	日本社会文化	博士2年	2年	2年	中国山東大学
福建省	男	28	医学系学府	神経内科学	大学院特 別研究学 生	2ヶ月	2ヶ月	大学院医療系 学府
湖南省	男	28	薬学府	分子衛生薬学	大学院研 究生	2年	2年	
河南省	男	25	人間環境学府	都市共生デザ イン	研究生1 年	3ヶ月	4年	交通計画
蘭州	女	27	芸術工学府	芸術工学	博士1年	1年	1年	コンテンツクリ エイティブデザ イン
浙江省	女	26	人文科学府	言語・文学	博士1年	3ヶ月	3ヶ月	杭州師範大学
山東省	女	23	人文科学府	国文学	修士2年	3ヶ月	3ヶ月	山東大学

【第5回】 中国人留学生 7名

平成26年12月18日（木）16：30～17：40

地方	性別	年齢	所属	専攻	専攻課程	福岡滞在年数	日本在籍年数	直前の在籍機関（自国の機関）
吉林省	男	24	経済学府	経済工学	修士2年	3年	2年	小樽商科大学
大連	女	24	生物資源環境科学府	農業資源経済学	修士2年	2年	2年	遼寧師範大学
浙江省	男	22	農学部	生命機能化学	学部研究生	3ヶ月	3ヶ月	江南大学
丹東市	女	25	経済学府	経済工学	修士1年	1年9ヶ月	1年9ヶ月	大連海洋大学
安徽省	女	23	地球社会統合科学府	地球社会統合科学	修士1年	1年	1年	大連外国語大学
湖南省	女	21	法学府	政治動態分析	修士1年	3ヶ月	3ヶ月	上海国際大学
山東省	女	23	人間環境学府	都市共生デザイン	研究生	2ヶ月	2ヶ月	ハルビン工業大学

②ヒアリング内容の整理（九州大学）

1) 九州・福岡を知ったきっかけ

アジア圏との距離が近く、日本の中でも身近な地域

- ・ 「博多ラーメン」や「温泉」など日本の観光地の一つとして九州が有名である。
- ・ 自国（韓国・中国）から近く、旅行など身近な地域のイメージがある。

2) 留学先として九州・福岡を選んだ理由

【学業・研究の分野における九州・福岡】

学部生は、留学試験の結果による合格可能性が高い大学を選択、院生の場合は希望する指導先生や自分の専門性を高める大学がある地域を選択傾向にあった。

- ・ 日本社会での、九州大学が国立大学であること位置づけと安い授業料。
- ・ 自分が研究したい分野の先生が福岡の九州大学にいたから。
- ・ 日本は東アジアにおいて、経済も学術も高いレベルであり、レベルの高いところで研究することが大事である。
- ・ 欧米人で発症率が高く、日本人・中国人は発症率が低い多発性硬化症を研究している。日本人と中国人と遺伝子的に近いので、日本で研究しようと思ってきた。

【留学時の異文化体験先としての九州・福岡】

日本文化の体験や日本社会での生活を楽しみにしていたほか、地震や原発問題の影響少ない地として、安全面を考慮した結果や、自国からの近さが決めてとなった学生が多い。

- ・ 日本人とのコミュニケーションやイベント参加、就職体験など、地域社会に入り込み、いろいろな日本の生活体験をしてみたいと思った。
- ・ 地震が少なく、原発事故の地から遠いことで家族を説得できた。
- ・ アジア圏、特に中国、韓国から近く、釜山は船で行けるくらいの距離であるため、利便性が高い。

【北海道・札幌を選ばなかった理由】

札幌は観光地としてのイメージが強く、観光地以外の産業、教育、生活などの面が見えてこない。

- ・ 札幌は、メディア創造都市として知られているように観光地域としてのイメージが強いので他の産業や有名な分野、学問的なイメージより、遊びに行きたい観光都市としてのイメージを感じる。
- ・ ゲームプログラミング会社に就職希望だが、札幌にはそういった分野の会社が少なかったため、就職先が少ないというイメージを持っている。
- ・ 日本語が話せないなので、英語による授業しか選択できなかった。もっと英語で行われる授業を増やすと、選択肢に入りやすくなる。
- ・ 福岡が釜山と近いのでアジアとつながっている反面、北海道はロシアと近いのでロシアとつながっているイメージがある。

3) 留学生の生活面での九州・福岡

経済的に物価の安い福岡、商業施設も充実しており過ごしやすいものの、看板や公共料金通知など日本語のみの表記に戸惑っている。

- ・ 学内外で英語の案内が少なく、不便である。中国人は漢字に馴染みがあるが、それ以外の国は解読不能のである。日本語と英語を併記してほしい。
- ・ 福岡は日本の他の地域と比べて物価が安いので助かっている。
- ・ 福岡は現代的で、大きなデパートなど商業施設があり賑わっているが、郊外に行けば静かで過ごしやすい。
- ・ 中国国内に比べると空気や街がきれいで、過ごしやすい。

③福岡市（九州大学）留学生ヒアリングのまとめ

- ・ 留学生を増やす方法としては、地震や原発に対する不安感の払拭、物価の高さや奨学金の金額などの経済面での支援、就職についての情報発信など、多様な意見があった。その中でも、多くの学生が高い物価に対する奨学金、アルバイトなど経済的な面であった。
- ・ 次に若い人と女性の場合は、地震、原発など安全の面も結構重視していた。
- ・ 情報発信については、大学のマニュアル的な入試情報にとどまらず、日本で就職するまでの大学のビジョン提示が求められていた。

2. 札幌市と他都市との比較

本事業にて実施した外国人留学生ヒアリングから得られた結果から、札幌市と、名古屋市および福岡市との違いや特徴を以下に整理する。

なお、アンケート調査結果については選択式設問に優先度を持たせたため、下記の要領で集計を行い、設問ごとにポイント数の割合をグラフ化した。

表 2-1 ポイント配分表

最優先項目	4 ポイント
第二位優先項目	3 ポイント
第三位優先項目	2 ポイント
第四位以下	1 ポイント

(1) 外国人留学生の当地選択理由および札幌非選択理由

①札幌市の留学生の当地選択理由

目的の教授や研究分野がある学生が札幌市を選択した傾向が強い

アンケートでは、中国人留学生の約半数（7人中4人）は、北海道大学を目的に留学先を決めたとの回答があったが、ヒアリングでは欧米大学の人気が高かった印象がある。特に環境科学分野においては、日本が最先端であるとの声もあった。

韓国では学歴社会が顕著であり、留学先の学力レベルや認知度が重要視されるため、韓国であればソウル大学、留学するなら欧米が人気で、日本であれば東京大学に行くのがステータスとなっている。そのため、北海道に來ている学生は、目的の教授や分野があった学生や、自国における学力判定で北海道大学が適しているとの判定があった学生が多かった。

ヒアリング参加者全員が理系分野（農学、環境科学など）の学生多かったことから、北海道大学を目的に留学を決めた学生が多い。

今回のヒアリング参加者は、自国の大学に北海道大学卒の教授がいたり（トルコ・アンカラ大学）、兄弟が北海道大学の留学経験があったり、自国で日本文化を専攻していたなど、独自のコネクション環境がある学生であった。

②名古屋市の留学生の当地選択理由

日本の文化に興味を持ち、目的の大学が名古屋あった。札幌は語学留学先が少なく、選択肢から外れた。

■当地選択理由

日本を留学先として選択した理由について、アニメを通じ日本に興味を持ったり、日中文化交流活動への参加で日本への留学を決めたりするなど、文化について興味を持った学生が多くいた。アンケート調査においても名古屋の留学生は、なぜ日本の大学を選んだかの間に対して、「日本語や日本文化を勉強したい」と回答した学生が多かった。

アンケートからは、「目的の大学があったから」と回答した学生が多くいた。

そのほかの意見としては、「奨学金を得られたから」との回答も多く、アンケート調査では、札幌（12.9%）、福岡（11.3%）に対して、名古屋は17.7%[表 2-1 ※1]と理由のひとつとしてあげていた。

表 2-2 なぜ自身の大学へ留学しよう思ったか

	札幌市	名古屋市	福岡市
目的の大学があったから(※4)	25.3%	19.7%	21.5%
日本社会に興味があった	12.0%	10.3%	9.3%
日本語や日本文化を勉強	9.3%(※2)	15.3%	12.2%
日本関連企業で働きたい	5.3%	3.4%	6.2%
知人、友人、家族等の薦め	12.0%	14.3%	11.3%
治安や気候が良く住みやすそう	9.8%	9.4%	13.9%(※3)
奨学金を得られた	12.9%	17.7%(※1)	11.3%
学間の交流協定	9.8%	3.0%	6.2%
その他	3.6%	6.9%	7.9%

■札幌非選択理由

名古屋市の留学生が札幌を選ばなかった理由としては、「自国との交通の不便さや就職の不便さ」というアジア圏との物理的な距離についてと、雪の多さや寒さなど北海道の気候についての声が多く上がっていた。

「日本語を活かして通訳の仕事に就きたいが、言語学の科目が少ない」など日本語学習の留学先として選択肢から外している。アンケート調査においても「日本語や日本文化を勉強」するために当地を選択したと答えた学生は、名古屋（15.3%）、福岡（12.2%）のところ、札幌は9.3%[表 2-1 ※2]と最も少なかった。

③福岡市の留学生の当地選択理由

地震や原発の影響の少なさが留学地として候補にあがり、英語で行われる授業があることが選択理由となり、札幌は卒業後の就職先が少ないとの声が多かった。

■当地選択理由

福岡市の留学生は、「地震が少なく、原発問題の影響が少ない」、「都会過ぎない環境」「東京、関西と比べて留学生競争率が低い」など、立地や環境についての優位性をあげる学生が多くいた。アンケートにおいても、「治安や気候が良く住みやすそう」を選んだ留学生の比率が最も高く[表 2-1 ※3]、生活環境を重視している学生が多いといえる。

また、九州大学の留学生は、「英語で法律の勉強ができる」など、英語での授業や研究を行えることが決定打となった学生が多くいた。

■札幌非選択理由

ヒアリングでは、福岡市の留学生においても名古屋と同様に「母国から往復交通費が高い」ことを理由にしている学生が多く、また、「卒業後の就職先が少ない」ことが非選択理由としている学生が多くいた。

④当地選択理由および札幌非選択理由の整理

最優先事項に三都市とも「目的の大学」を最も選択理由としてあげている

3都市すべてにおいて、「目的の大学があったから」という理由でそれぞれの留学先を選択[表 2-1 ※4]している学生の割合が多く、そのなかでも札幌市の留学生は、最も高いポイント(25.3%)となった。

また、前述のように、「日本語や日本文化を勉強」するために当地を選択したと答えた学生は、名古屋(15.3%)、福岡(12.2%)のところ、札幌は9.3%と最も少なかった。名古屋大学には日本語習得を目的とした留学制度があり、九州大学には1年間の短期留学制度があるため、両者は高い数値となったと考えられる。

(2) 留学に関する情報の入手経路

① 留学情報入手時のファーストアクション

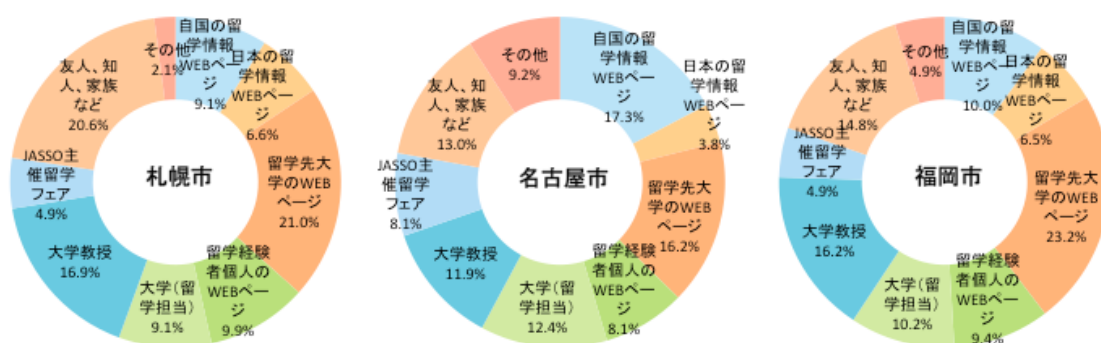
まずは留学先大学の WEB ページにて情報収集を行う

外国人留学生が、一番初めに情報を得たところについては、概ね「留学先大学の WEB ページ」から情報を得ている。

この他、自国の大学教授等から留学を進められたり、留学経験のある友人から話を聞くなどの情報入手が多く聞かれた。大学教授から紹介された場合は、概ね選択する大学がある程度絞られた状態にある。

表 2-3 留学したいと考えて、一番初めに情報を得たところはどこか

	札幌市	名古屋市	福岡市
自国の留学情報 WEB ページ	9.1%	17.3%	10.0%
日本の留学情報 WEB ページ	6.6%	3.8%	6.5%
留学先大学の WEB ページ	21.0%	16.2%	23.2%
留学経験者個人の WEB ページ	9.9%	8.1%	9.4%
大学(留学担当)	9.1%	12.4%	10.2%
大学教授	16.9%	11.9%	16.2%
JASSO 主催留学フェア	4.9%	8.1%	4.9%
友人、知人、家族など	20.6%	13.0%	14.8%
その他	2.1%	9.2%	4.9%

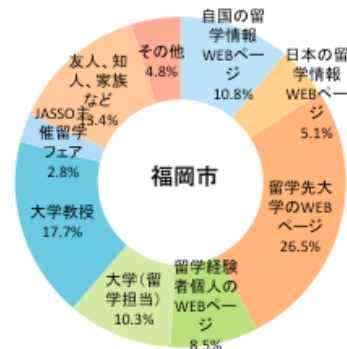
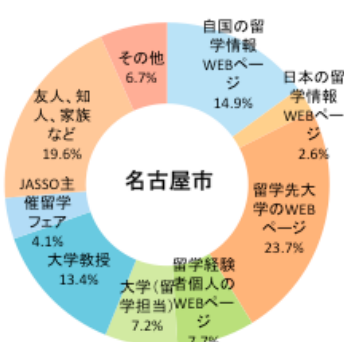
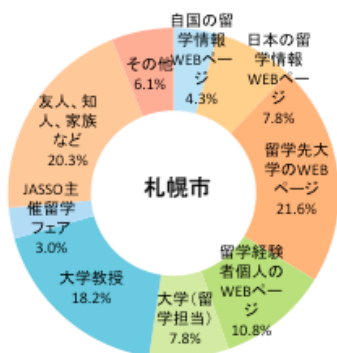


②留学について検討している際の情報収集

大学の WEB ページの他、身近な人からの情報収集を行っている。

留学の検討段階での情報入手先としては、ファーストアクションと同様に「留学先大学の WEB ページ」という回答が最も多く、次いで「友人、知人、家族など」、「大学教授」からという結果となった。

	札幌市	名古屋市	福岡市
自国の留学情報 WEB ページ	4.3%	14.9%	10.8%
日本の留学情報 WEB ページ	7.8%	2.6%	5.1%
留学先大学の WEB ページ	21.6%	23.7%	26.5%
留学経験者個人の WEB ページ	10.8%	7.7%	8.5%
大学(留学担当)	7.8%	7.2%	10.3%
大学教授	18.2%	13.4%	17.7%
JASSO 主催留学フェア	3.0%	4.1%	2.8%
友人、知人、家族など	20.3%	19.6%	13.4%
その他	6.1%	6.7%	4.8%



（３）外国人留学生の生活課題

①留学前、留学先の生活で不安に感じていたこと

生活費とコミュニケーションの不安が大きい

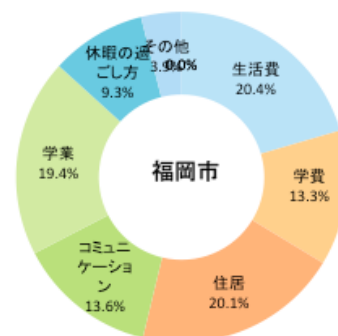
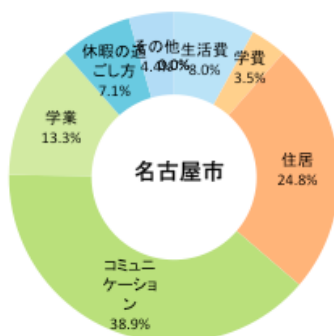
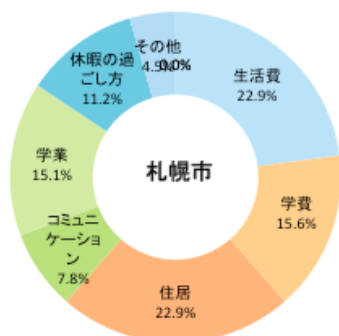
札幌と福岡の留学生は、留学前に「生活費」と「住居」についての不安視している傾向が強い。[表 2-3 ※1]

一方で、名古屋の学生は、「生活費」と「学費」が生活の課題として少ないのは、当地選択理由としてあがっていた「奨学金があったから」との回答から、奨学金で生活をまかなえるものと考えていたと推測できる。

また、名古屋への留学生が「コミュニケーション」について課題になると認識していた傾向が強いが、名古屋大学には日本語の語学留学を目的にしている学生が多く、自身の言語レベルがどこまで通用するかを不安視していた。

表 2-4 留学前、留学先の生活でどのような不安を感じていたか？

	札幌市	名古屋市	福岡市
生活費	22.9%(※1)	8.0%	20.4%
学費	15.6%	3.5%	13.3%
住居	22.9%(※1)	24.8%	20.1%
コミュニケーション	7.8%	38.9%(※2)	13.6%
学業	15.1%	13.3%	19.4%
休暇の過ごし方	11.2%	7.1%	9.3%
その他	4.5%	4.4%	3.9%



②現在、留学生活で課題や不安に感じていること

留学中は学業の難易度が課題になっている

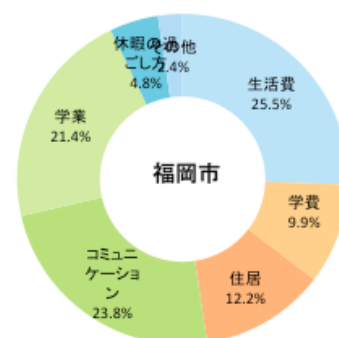
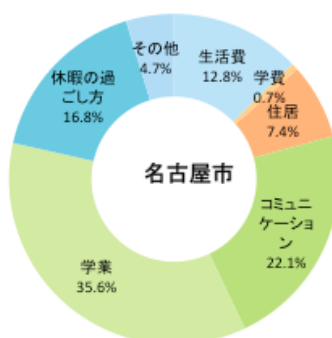
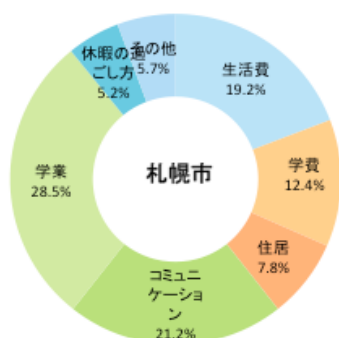
札幌の留学生は学業についての不安を 28.5%と最も多くあげている。また、来る前不安に思っていた休暇の過ごし方が来てからポイントが下がっているため、想定していたよりも充実した環境や生活を送ることができていると推測できる。さらにいうと、事前に正確な情報を入手できていない状況であり、情報発信不足をうかがい知ることができる。

生活費、学費は名古屋が少ないのは、奨学金の充実によるものと考えられる。また、休暇の過ごし方を課題としているのは、ヒアリングでも聞かれたように、観光的な魅力が少なく、関東や関西にわざわざ出向かないと楽しむ場所がないとの意見につながる。

福岡では、生活費について問題視している回答が多かった。

表 2-5 現在、留学生活にどのような課題や不安、不便に感じているか

	札幌市	名古屋市	福岡市
生活費	19.2%	12.8%	25.5%
学費	12.4%	0.7%	9.9%
住居	7.8%	7.4%	12.2%
コミュニケーション	21.2%	22.1%	23.8%
学業	28.5%	35.6%	21.4%
休暇の過ごし方	5.2%	16.8%	4.8%
その他	5.7%	4.7%	2.4%



（４）就職意識・進路

①卒業後の進路

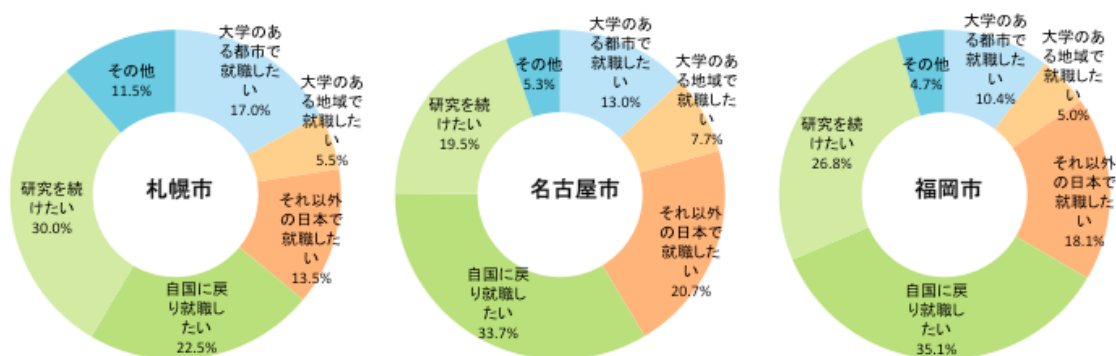
札幌市の留学生は研究を継続、他都市は自国に戻る傾向が強い

卒業後は、特に札幌市において大学のある地域には希望する業種や就職先がないなど、残りたくても残れないなどの声が多く聞かれた。そのうえで、アンケート調査では、札幌の留学生は、研究を続けたいとした学生が最も多く 30%の得票を得た。

札幌と比較して、就職先の選択肢が多いであろう名古屋、福岡の学生だが、自国に戻るとしている学生が 30%以上となった。

表 2-6 卒業後の進路はどのように考えているか

	札幌市	名古屋市	福岡市
大学のある都市で就職したい	17.0%	13.0%	10.4%
大学のある地域で就職したい	5.5%	7.7%	5.0%
それ以外の日本で就職したい	13.5%	20.7%	18.1%
自国に戻り就職したい	22.5%	33.7%	35.1%
研究を続けたい	30.0%	19.5%	26.8%
その他	11.5%	5.3%	4.7%



②就職を希望する際の問題点

生活費とコミュニケーションの課題が大きい。

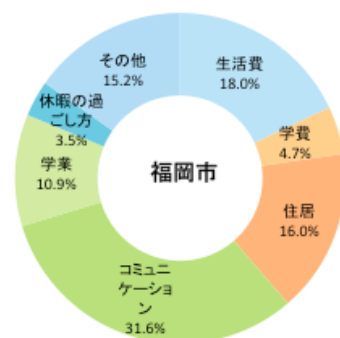
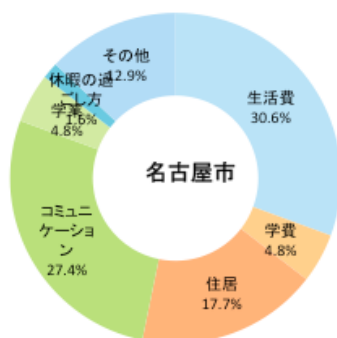
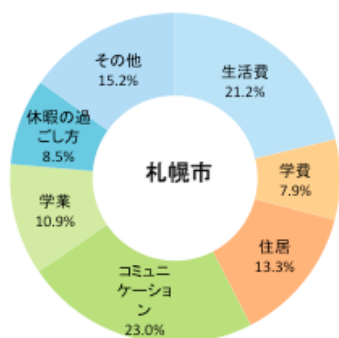
就職を希望する際の問題点では、生活費を課題としてあげる学生が多く、奨学金の制度によりアルバイトが禁止されていることなどで、仕送りや貯金でまかなっているとのことであった。

アンケートにおいても、生活費を課題としてあげている学生が多く、次いで、コミュニケーションを問題視している結果となった。

コミュニケーションについては、日本語習得レベルが比較的低い学生が課題として考えているようであった。

表 2-7 就職を希望する時の問題点は？

	札幌市	名古屋市	福岡市
生活費	21.2%	30.6%	18.0%
学費	7.9%	4.8%	4.7%
住居	13.3%	17.7%	16.0%
コミュニケーション	23.0%	27.4%	31.6%
学業	10.9%	4.8%	10.9%
休暇の過ごし方	8.5%	1.6%	3.5%
その他	15.2%	12.9%	15.2%



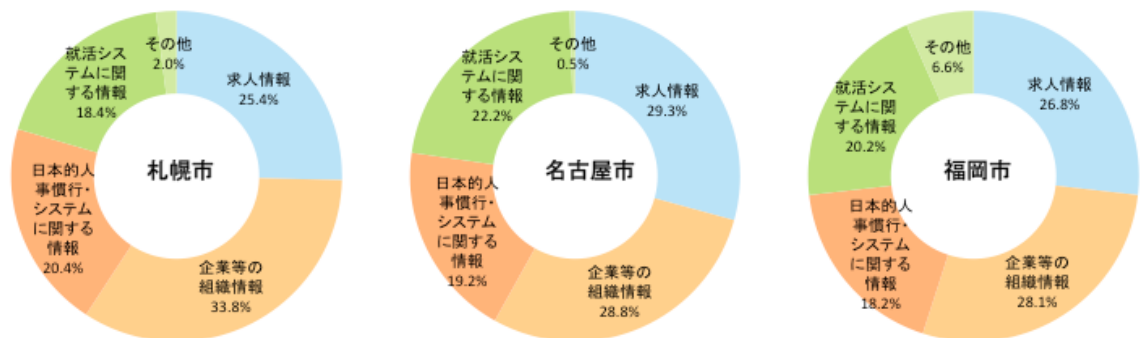
③就職活動に際し欲しい情報

就職活動の際には「求人情報」と「企業等の組織情報」が求められている

就職活動に当たり、欲しい情報は三都市とも「求人情報」と「企業等の組織情報」の 2 つが大きな割合を占めた。

表 2-8 就職活動に際し、どのような情報を提供して欲しいか？

	札幌市	名古屋市	福岡市
求人情報	25.4%	29.3%	26.8%
企業等の組織情報	33.8%	28.8%	28.1%
日本的人事慣行・システムに関する情報	20.4%	19.2%	18.2%
就活システムに関する情報	18.4%	22.2%	20.2%
その他	2.0%	0.5%	6.6%



3. 札幌における留学生受け入れ等の状況から見た課題

(1) 各種データから見た課題

①三都市の留学前イメージ認知

身近な福岡、工業の名古屋、観光の札幌

今回の調査において、札幌の留学前イメージは意外な程、200万都市としての認知が低く、とりわけ中国や韓国の留学生においては映画等の影響から、北海道全体イメージとの混同も感じられ、風景が美しい「観光の街」としてのイメージ認知をされている点が特徴的であった。

その理由のひとつとして三都市の中での外国人登録数の少なさ（名古屋市の1/7、福岡市の1/3）や、県域を含む留学生の少なさによる体験的都市情報やリアルな実感に基づいた生活情報の結果としての希薄さに起因するとも類推できるが、留学先選択の要素としては、観光オンリーイメージからの脱却が必要不可欠であると考えられる。

表 3-1 三都市における外国人留学生数（H25.5.1 現在）

	人口数 (H26.10.1)	外国人登録数 (H26.10.1)	留学生数 /(道県留学生数)	内調査校 留学生数
札幌市	1,942,648 人	9,612 人	1,850 人 /(2,737 人)	北大 1,384 人 札大 210 人
名古屋市	2,276,590 人	65,589 人 (※H26.12)	3,487 人 /(6,623 人)	名大 1,648 人
福岡市	1,519,349 人	28,189 人	3,247 人 /(10,434 人)	九州大 1,969 人

各市住民基本台帳人口、外国人留学生在籍状況調査（平成 25 年度 日本学生支援機構）より

ちなみに次ページ[表 3-2]示されているように札幌市は観光入込数が三都市の中で一番少ないにもかかわらず、外国人宿泊数は逆に多くなっており、最寄り国際空港別の外国人入国者も福岡市の空港・港湾のトータルを別にすると、中部国際空港の入国者数に並んでいる。明らかに特徴的なのは千歳空港の入国者数で日本人入国者数が圧倒的に少ないことである。この事実は、千歳空港への外国人入国者数は直行定期便というより、観光目的のチャーター便客であることが推察され、札幌の「観光イメージ」を裏付ける結果となっている。

表 3-2 3都市における観光入込数と外国人宿泊数

	観光入込数 (H25 年度)	外国人宿泊数 (H25 年度)
札幌市	13,559,000 人	1,054,724 人
名古屋市	65,161,000 人	682,000 人 (※類推値)
福岡市	17,820,000 人	886,273 人 (※H24 年度)

各市観光統計より作成

表 3-3 近接空港の外国人入国者数、日本人入国者数

	外国人入国者数 (H25 年)	日本人入国者数 (H25 年)	合計
札幌市 新千歳空港	505,677 人	136,415 人	642,826 人
名古屋市 中部国際空港	573,527 人	1,528,193 人	2,102,092 人
福岡市 福岡空港	687,020 人	857,688 人	1,550,261 人
博多港	199,253 人	96,613 人	296,040 人

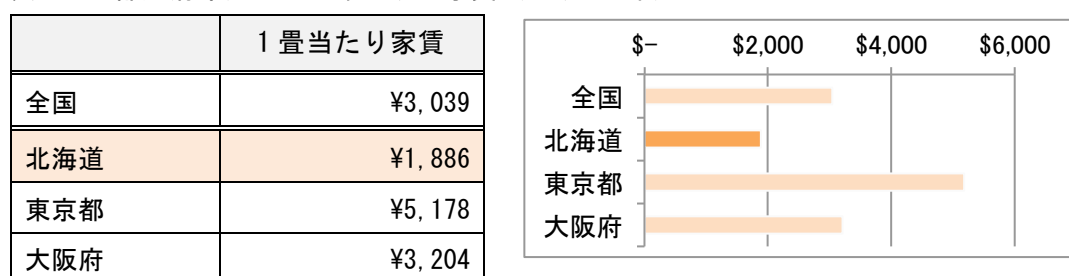
法務省出入国管理統計（港別出入国者）より作成

②留学後における札幌の都市理解度

自然に近く住みやすいが、意外と小さく遠い街。

留学後の札幌の理解は、基盤の目の都市構造による方向の把握や清潔さ、また東京、大阪等と比較しての家賃や生活費の相対的安さ、自然との近接感など概ね好評である。（家賃・生活費の安さ認識は名古屋・福岡も同じ）

表 3-4 都道府県別 1 畳あたりの家賃（平成 25 年）



総務省統計局 平成 25 年基準消費者物価指数より抜粋

表 3-5 消費者物価地域差指数（平成 25 年）

	総合	食料	家賃を除く総合
51 市平均	100.0	100.0	100.0
札幌市	100.2	97.9	101.1
東京都区部	105.9	104.9	104.2
大阪市	100.6	100.6	100.6

総務省統計局 平成 25 年基準消費者物価指数より抜粋

また、街全体がコンパクトであるという認識も多く、移動や買い物の利便性について好印象を持たれている。とりわけ食べ物については、評価が高く「美味しい街」のイメージが定着されている。

しかし以外に思えるのは札幌の都市規模を「小さな街」としての印象を持っている留学生が多かった点。その要因はアジア留学生の出身都市や直前在籍機関（高校や大学）が主として 300 万人規模以上の都市であるという事実から納得できる。

表 3-6 アジア圏の主要都市の人口規模

単位：万人

国名	都市名	人口	国名	都市名	人口
中国	上海	1,003	韓国	ソウル	1,028
	北京	788		プサン	375
	香港	671		テグ	254
	天津	515	インドネシア	ジャカルタ	835
	武漢	459		スラバヤ	259
	重慶	424		バンドン	214
	南京	323	インド	ムンバイ	1,191
	西安	277		デリー	982
	哈爾濱	274	フィリピン	ケソンシティ	217
	成都	266	ミャンマー	ヤンゴン	410

都市的地域の推定人口と面積（2014 Demographia）より作成

加えて、平成 25 年度 5 月 1 日現在の札幌市への留学生総数 1,850 人の内、直前の在籍機関が海外の機関（高校、大学等）である留学生数が 896 人に対し日本の機関からの転籍者が 954 人と半数を超えることから、その多くが東京圏や大阪圏を体験していると思われ、その都市間比較からも札幌の印象やイメージを形成していると思われる。

課題としてあげられたのは、出身国からの札幌直行便の少なさから生じる不便さや国内移動における札幌への運賃の高さ、訪問したい都市等への距離の遠さなどが指摘された。

表 3-7 3 都市の空港における国際便週間運行便数

札幌市 新千歳空港		名古屋市 中部国際空港		福岡市 福岡空港	
10 都市	53 便	26 都市	291 便	18 都市	392 便

路線	週間運 行便数
ソウル	9
釜山	3
香港	7
上海	3
北京	4
台北	16
バンコク	4
グアム	2
ホノルル	3
ユジノサハリンスク	2

路線	週間運 行便数
ソウル	49
釜山	7
済州	4
長春	2
大連	7
北京	11
上海	28
上海-広州	7
上海-成都	7
上海-西安	7
瀋陽	3
青島-北京	7
天津	7
台北	22
香港	21
バンコク	10
マニラ	12
ハノイ	4
ホーチミン	3
シンガポール	7
グアム	21
ホノルル	14
デトロイト	5
フランクフルト	7
ヘルシンキ	7
アブダビ	5

路線	週間運 行便数
ソウル	116
釜山	52
済州	6
大連-北京	14
青島-北京	8
上海	28
上海-武漢	14
台北	36
台北-香港	14
香港	14
マニラ	10
バンコク	14
ハノイ	4
ホーチミン	4
シンガポール	10
グアム	14
ホノルル	28
アムステルダム	6

※博多港(国際定期航路)	
釜山	18～21
1,622～2,222 人/日	

各運輸局運輸要覧より作成

(2) 留学生受け入れから見た課題

①受け入れ状況の比較

集中度合いが高い札幌。新たなニーズの発掘が課題

三つの都市の留学生受け入れ状況を見ると、北大・名古屋大・九州大という旧帝国大学が他大学と比較して圧倒的な数になっているのは共通している。

この現象は、中国・韓国の学歴社会における留学先大学の学力レベルや認知度が重要視される傾向や、留学そのものがその後のキャリアアップの手段となり、大学のステータスが求められる事実に起因すると考えられる。

しかしながら、札幌市における北海道大学の集中割合は名古屋大学、九州大学の集中割合と比較しても極端に高く、また2番目の留学生数を有する札幌大学を加えるとほぼこの2校で留学生の90%近くを占めることになっている。現在のアジア圏における日本留学へのニーズがより鮮明に表出している地域ともいえるが、他校においても学校の特質を活かした新たなニーズの発掘や交換留学校などの拡大検討が望まれる。

表 3-8 外国人留学生数受け入れ大学（平成 25 年 5 月 1 日現在）

受入校数	外国人登録者数 (H26.10.1)	留学生数 /(道県留学生数)	内調査校	トップ大学割合
札幌市 11 校	9,612 人	1,850 人 /(2,686 人)	北大 1,384 人 札大 210 人	74.8% ※2校(86.2%)
名古屋市 15 校	65,589 人	3,487 人 /(6,214 人)	名大 1,648 人	47.3%
福岡市 16 校	28,189 人	3,247 人 /(10,779 人)	九大 1,969 人	60.6%

※北九州市 10 校

都市住民基本台帳人口、外国人留学生在籍状況調査（平成 25 年度 日本学生支援機構）より作成

また道・県に対する集中割合を見ると、札幌市 68.9%、名古屋市 56.1%に対し、福岡市は 30.1%と低い。福岡市の場合は、近接地の北九州市が 1482 人、太宰府市も 1688 人を受け入れている影響がある。（三市合計で 59.5%）

参考までに今回調査の3都市と福岡市に隣接している北九州市の受け入れ上位5校の様子を整理してみると、その上位校で市全体の70%～95%を占めている様子が解る。それぞれの都市における大学の有様とも関連してくるので一概には言えないが、今後の留学生誘致の底上げ対策など取り組み方向に多くの示唆を与えている。

(参考) 表 3-9 各都市留学生上位5校の留学生数

札幌市		名古屋市		福岡市		※北九州市	
北海道大学	1,384 人	名古屋大学	1,648 人	九州大学	1,969 人	私立 A 大学	343 人
札幌大学	210 人	私立 A 大学	358 人	私立 A 大学	528 人	公立 B 大学	303 人
国立 A 大学	78 人	私立 B 大学	276 人	私立 B 大学	319 人	私立 C 大学	256 人
私立 B 大学	44 人	私立 C 大学	134 人	私立 C 大学	150 人	私立 D 大学	220 人
私立 C 大学	23 人	公立 D 大学	126 人	私立 D 大学	67 人	私立 E 大学	217 人
				私立 E 大学	67 人		
計	1,739 人	計	2,542 人	計	3,100 人	計	1,339 人
総数	1,850 人	総数	3,487 人	総数	3,247 人	総数	1,482 人
上位5校割合	94.0%	上位5校割合	72.9%	上位5校割合	95.5%	上位5校割合	90.4%

外国人留学生在籍状況調査（平成25年度 日本学生支援機構）より作成

②札幌の留学生活からの課題

日常生活の中での異文化コミュニケーション交流の場が必要。

今回のヒアリング調査に限るとはいえ、留学後の札幌生活における主たる不安は、1位学業（28.2%）2位コミュニケーション（21.2%）3位生活費（19.2%）となっている。アンケート回答が優先順位を要求するポイント制のため%は低く出る傾向にあるが、人数的にはこの1位～3位までは半数くらいの学生が解答している。

学業については当たり前とも言えるが、コミュニケーションと生活費に関しては、ヒアリングで掘り下げると、言語の問題が浮上してきた。

生活費との関連で言えば、留学生の大半はアルバイトで生活費を補填せざるを得ず、日本語が採用条件になる他、仕事のコミュニケーションにおいてもこの言語の問題は、不自由を余儀なくされている環境になっている。

また大学生活や日常生活においても言語の問題は大きく、東京や大阪等外国人との日常生活に慣れている街の人たちがカタコトでもコミュニケーションを成立させようとする姿勢に対し、札幌市民は消極的でなかなかコミュニケーションしづらい事などが指摘され、どうしても会話が成立する同国人で集まってしまう傾向になってしまうことから、「日常での異文化コミュニケーションの場」の必要性も課題となってくる。

加えて留学生の安定した勉学環境の条件整備を図ることを目的として名古屋市、福岡市ではそれぞれ公益財団法人名古屋国際センターや福岡国際交流協会から独自の奨学金制度を設けている。「札幌に住みたくなる留学生の獲得、育成」のためには、検討したい課題である。

表 3-10 他都市の留学生奨学金支給制度（平成 23 年 9 月名古屋市調べ）

都市	年額	月額	支給人数	主な要件
仙台市	240,000 円	20,000 円	20 人	市内在住
千葉市	75,000 円	6,250 円	4 人	市内大学、市内在住、私費留学生
川崎市	120,000 円	10,000 円	45 人	市内大学・専修学校の専門課程、市内在住、私費留学生
名古屋市	120,000 円	10,000 円	150 人	市内在住、私費留学生
神戸市	960,000 円	80,000 円	30 人	市内大学、市内在住、私費留学生、発展途上国出身
広島市	360,000 円	30,000 円	30 人	市内大学・大学院、市内在住
北九州市	① 240,000 円 ② 600,000 円	① 20,000 円 ② 50,000 円	① 4 人 ② 30 人	① 大連市に関連、市内大学、市内在住 ② 北九州学術研究都市内の大学院
福岡市	① 240,000 円 ② 600,000 円	① 20,000 円 ② 50,000 円	① 115 人 ② 5 人	①都市圏大学・短大 ②都市圏大学院

(3) 卒業後の就職希望状況から見た課題

①留学生の就職状況

きわめて低い道内就職数、卒業世代の道外転出超。

法務省入国管理局がまとめた「(平成)25年における留学生の日本企業等への就職状況」(都道府県別)から抽出した北海道より多くの許可人数を持つ都道府県は以下である。このデータで見える限り、今回ヒアリング調査を行った都市(名古屋市、福岡市)を含む県域と比較して北海道は1/3～1/5の就職数であることが伺える。

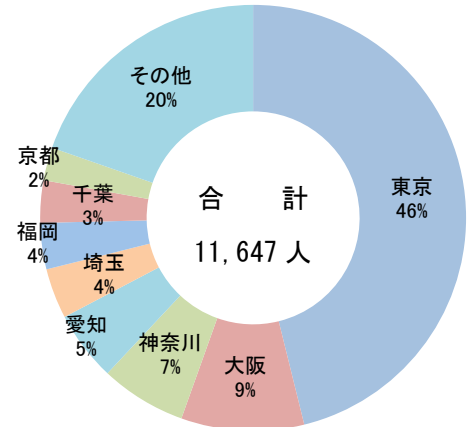
表 3-11 許可人員数と留学生数の比較

順位	都道府県	許可人員(H25)	留学生数(H25)	許可人員の占める割合
1	東京	5,359 人	43,500 人	12.3%
2	大阪	1,084 人	10,521 人	10.3%
3	神奈川	759 人	4,683 人	16.2%
4	愛知	622 人	6,623 人	9.4%
5	埼玉	447 人	5,877 人	7.6%
6	福岡	402 人	10,434 人	3.9%
7	千葉	393 人	5,290 人	7.4%
8	京都	289 人	6,900 人	4.2%
9	兵庫	245 人	5,128 人	4.8%
10	群馬	225 人	1,366 人	16.5%
11	静岡	190 人	1,563 人	12.2%
12	茨城	162 人	2,638 人	6.1%
13	北海道	136 人	2,737 人	5.0%
次	広島	118 人	2,499 人	4.7%
全国計		11,647 人	137,756 人	8.5%

平成 25 年における留学生の日本企業等への就職状況調査(法務省入局管理局)より作成

図表 3-12 所在地域構成比（平成 25 年）

所在地	許可人員	構成比
東京	5,358 人	46.0%
大阪	1,083 人	9.3%
神奈川	757 人	6.5%
愛知	617 人	5.3%
埼玉	443 人	3.8%
福岡	408 人	3.5%
千葉	373 人	3.2%
京都	291 人	2.5%
その他	2,283 人	19.6%
合計	11,647 人	100.0%



平成 25 年における留学生の日本企業等への就職状況調査（法務省入局管理局）より作成

このデータで見る限り、就職状況割合は関東圏、中部圏、大阪が優位を占めており、福岡、広島、兵庫、北海道は低い傾向になっている。しかし広島以外は留学生数も多く、実質の就職数は北海道をはるかにしのいでいる。

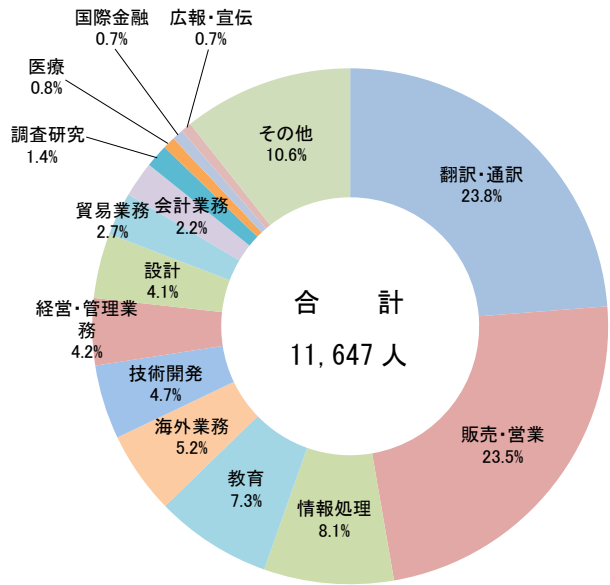
(注)

許可人員とは「留学」及び「就学」の在留資格を有する外国人（以下「留学生」という）が日本の企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請を行い、許可された人員のことである。

また就職内容で見ると「翻訳・通訳」「販売・営業」で約 50%近くを占めていることが解る。

図 3-13 職務内容別許可人数と構成比

職務内容	許可人員	構成比
翻訳・通訳	2,773 人	23.8%
販売・営業	2,743 人	23.6%
情報処理	949 人	8.1%
教育	854 人	7.3%
海外業務	604 人	5.2%
技術開発	543 人	4.7%
経営・管理業務	489 人	4.2%
設計	474 人	4.1%
貿易業務	317 人	2.7%
会計業務	260 人	2.2%
調査研究	169 人	1.5%
医療	90 人	0.8%
国際金融	82 人	0.7%
広報・宣伝	78 人	0.7%
その他	1,242 人	10.7%
合計	11,647 人	100.0%

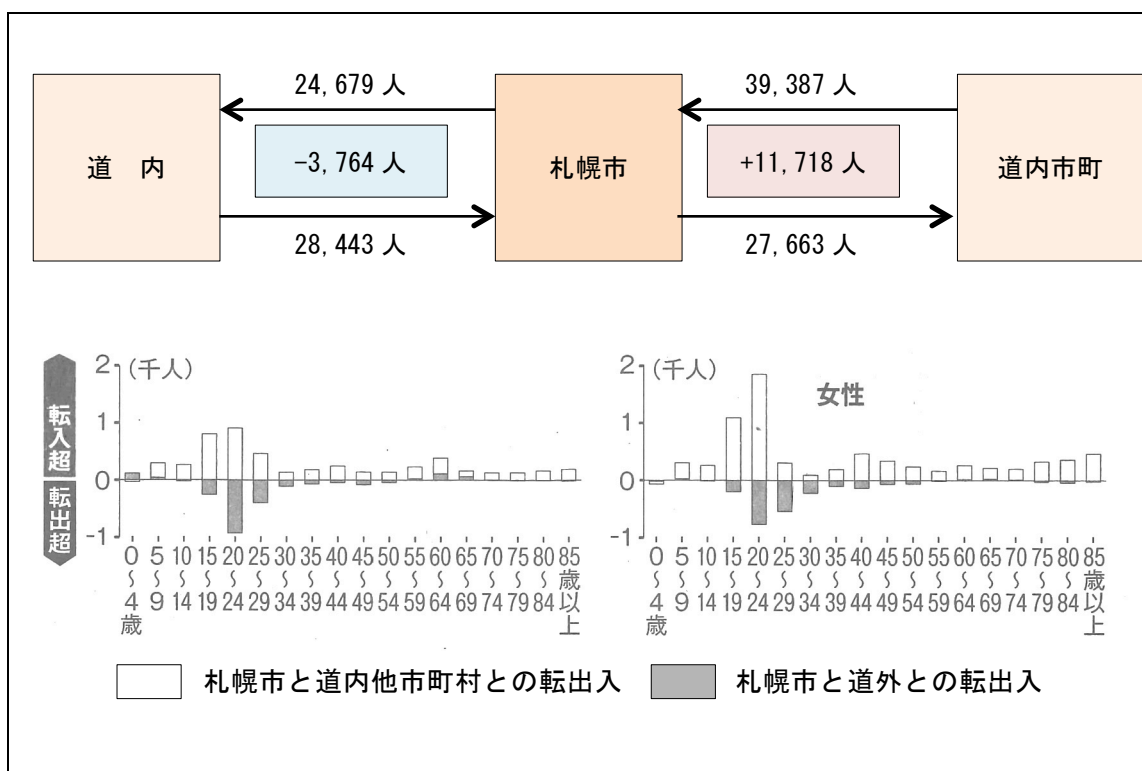


平成 25 年における留学生の日本企業等への就職状況調査（法務省入局管理局）より作成

ちなみに札幌市における 2014 年の人口動向から見ると、道内他市町村から転入者が転出者を上回る「転入超」の傾向が続いている。しかし道外との出入りでは「転出超」となっており、とりわけ大学及び大学院卒業年次に当たる 20～24 歳や 25～29 歳層においては道外への転出が高くなっている。

この事実是一般に語られている通り、大学卒業生たちの就職や雇用を支える産業基盤の弱さや雇用必要業種の片寄りなどにあると推察され、他地域と比較して留学生の市内、道内の就職数が圧倒的に低いのもうなずける。

表 3-14 札幌市の人口動向（平成 25 年）



北海道新聞平成 27 年 2 月 16 日版

とりわけ札幌市の留学生の 75% を占める北海道大学においても日本人卒業生の道外転出傾向は高く、とりわけ工学部、理学部系においてはほとんどが道外企業への就職となっていると言われている。こうした事実は留学生の就職状況の課題と言うよりは、札幌・北海道経済・社会における永年の課題であると言える。

②留学生の就職希望状況と受け入れ企業の意識

高い就職希望と受け入れ企業の少なさ。

今回のヒアリング調査において札幌市への留学生を他 2 都市との留学生において比較的違った傾向が見られたのが「卒業後の進路」についてである。

「大学のある都市・地域、それ以外の日本で就職したい」といういわゆる日本での就職希望 3 項目合計のポイント割合は札幌 36.0%、名古屋 41.4%、福岡 33.5%と大きな差異はないが、「自国での就職希望」において札幌の留学生は 10%以上低い割合となっている。この設問では各都市とも「一人っ子政策最盛期」の中国人留学生達は「結果本国へ戻らないと親が悲しむ」といった感触を語っていたが、札幌でのポイント割合の低さは注目できる。

表 3-15 卒業後の進路はどのように考えているか

	札幌市	名古屋市	福岡市
大学のある都市で就職したい	17.5%	13.0%	10.4%
大学のある地域で就職したい	5.5%	7.7%	5.0%
それ以外の日本で就職したい	13.5%	20.7%	18.1%
自国に戻り就職したい	22.5%	38.7%	35.1%
研究を続けたい	30.0%	19.5%	26.8%
その他	11.5%	5.3%	4.7%

また札幌の留学生で特徴的なのは研究継続希望が一番高い点と、日本での就職場所として札幌での希望が 3 都市の中では一番高く、2 都市の留学地以外の日本での就職希望が高いのと大きな違いとなっている。

この事実は留学前の印象より暮らしてみることによる「札幌の好印象」の醸成と推測でき、札幌の大きなポテンシャルとして考えられる。

一方で受け入れ候補企業などから見た受け入れ可能性はなかなか厳しい状況がある。

近年注目されている道産食品輸出などを行っている企業への平成 25 年度に行われた「札幌市における食料品製造業の輸出実態把握調査/札幌市経済局国際経済戦略室海外戦略推進課」

によると「定期的輸出している商品がある」と答えた企業は 89 社回答中 17 社（不定期は 28 社）があった。「主要商品輸出都市」及び「今後の希望輸出先」は以下の国になっている。

表 3-16 主要商品輸出先都市

	都市	回答数	構成比
1	香港	23	41.8%
2	アメリカ内都市	7	12.7%
3	シンガポール	6	10.9%
4	台北	5	9.1%
4	韓国内都市	5	9.1%
4	中国(大陸)	5	9.1%
7	デュッセルドルフ	1	1.8%
7	ウランバートル	1	1.8%
7	プノンペン	1	1.8%
合計		55	100.0%

表 3-17 「今後の希望輸出先」

	都市	回答数	割合
1	バンコク	10	23.8%
2	シンガポール	9	21.4%
3	香港	6	14.3%
4	中国(大陸)	4	9.5%
5	台北	3	7.1%
5	ニューヨーク	3	7.1%
7	ホーチミン	2	4.8%
8	ソウル	1	2.4%
8	ジャカルタ	1	2.4%
8	クワラルンプール	1	2.4%
8	オタワ	1	2.4%
8	EU 内都市	1	2.4%
合計		42	100.0%

平成 25 年札幌市における食料品製造業の輸出実態調査報告（札幌市経済局）

また、これらの企業に今後の海外出店への興味や留学生の採用及び活用についても解答は少なく、興味があると答えた企業は 15 社と 13 社である。

表 3-18 海外出店等

	業種	回答数	構成比
1	海外への出店等に興味がある	15	39.5%
2	海外への出店等へ興味がない	23	60.5%
合計		38	100.0%

平成 25 年札幌市における食料品製造業の輸出実態調査報告（札幌市経済局）

表 3-19 留学生の活用、採用について

	業種	回答数	構成比
1	活用(通訳、翻訳等)に興味がある	8	21.1%
2	採用に興味がある	5	13.2%
3	どちらも興味がない	25	65.8%
合計		38	100.0%

どちらも興味がない理由
必要がないから
現地採用のほうが低価格の為
留学生の採用・活用が必要な状況にないため
輸出量が少ない
短期(1年以内～5年)期限付の雇用はしていない
日本の商社を通じて輸出しているため
いまだ調査段階のため決められない
当面、経費を計上しての海外活動の計画が無い為、輸出業者に委託

平成 25 年札幌市における食料品製造業の輸出実態調査報告（札幌市経済局）

表 3-20 採用希望国

	都市	回答数	割合
1	シンガポール	5	27.8%
2	香港	4	22.2%
3	中国	4	22.2%
4	タイ	2	11.1%
5	台湾	1	5.6%
6	ミャンマー	1	5.6%
7	どこでも	1	5.6%
合計		18	100.0%

平成 25 年札幌市における食料品製造業の輸出実態調査報告
(札幌市経済局)

また別の53企業へのヒアリング調査のうち留学生の活用について解答を寄せた31企業の解答を見ても、留学生の活用については期待が薄いと言える。

表 3-21 留学生の活用について

	回答	回答数	割合
1	採用中	2	6.5%
2	採用実績有り	5	16.1%
3	興味有り	3	9.7%
4	条件必要	16	51.6%
5	考えていない	5	16.1%
合計		31	100.0%

平成 25 年札幌市における食料品製造業の輸出実態調査報告
(札幌市経済局)

条件必要との答えに共通していたのは「留学生の能力判断が自社では不可能であり人材の室が不明」や「定着の問題」があげられている。総じて見えてくるのは、自らビジネスにおける海外取引への可能性について確信を持てない様子が浮かび上がってくる。

今後輸出に係る企業以外にも、インバウンド観光客の誘致や増加に伴う関連企業での活用なども必要とされているが、企業と留学生のマッチングを含め、需要と現実に対応する新たなシステムづくりが大きな課題となっている。

(4) 留学生受入れの実情・実績から見た札幌の位置づけと課題のまとめ

弱さを特徴に変える戦術の必要性

今回の三都市における留学生のヒアリングから、誘致に係る地勢的な状況やイメージ認知、留学生の求める環境など、現実に応じて札幌の位置づけと課題が見えてきた。

観光客誘致や企業誘致と違って留学生の誘致は大学等の受入れ機関の知名度を含めた就学体制整備や誘致活動がその中心であることは言うまでもない。しかし、留学生たちがその大学を選択し就学する決意を固めるためには、大学の存在する都市環境や生活そのものに加えて、その後の就職なども異国であるが故、日本の学生以上に大きな要因であることは当然であるといえる。

以下に、留学生誘致における現実の留学生や各種データから見えてきた札幌の位置づけと課題を整理する。

留学前での札幌の認知

- ・ 札幌と北海道のイメージ混同による札幌市の都市規模と社会環境の不認知。
- ・ 競合他都市と比較して圧倒的に少ない外国人居住者や直行便の少なさに起因する訪問者からの直接体験とし情報の少なさ。

□

課題として

上記を踏まえた 200 万都市札幌の都市環境情報発信の必要性

大学の受入状況

- ・ 留学生の受け入れが他都市と同様に旧帝大の北海道大学に集中し、その割合が圧倒的。
- ・ 北海道大学以外に、100 名を超える留学生受け入れ大学が札幌大学のみ。

□

課題として

各校の特質を活かした留学生受入ニーズの発掘の必要性

留学後での札幌の理解度・納得度

- ・ 生活費の安さやコンパクトな利便性、都市と自然との近接感が好印象。
- ・ 一方で、他地域移動への高運賃及び不便性、語学に起因する生活や余暇活動でのコミュニケーション不足。
- ・ 地域コミュニティでの活動ニーズに対する受入体制の未整備

□

課題として

札幌の生活利便性や自然との近接感の強調アピールと地域コミュニティとの継続的連携活動の追求

卒業後の就職意識

- ・ 札幌での就職希望地が三都市で一番高い。理解度が進行することによる好感度向上。
- ・ 受入企業の圧倒的不足と外国人雇用意欲の低さ。

□

課題として

外国との事業機会拡大への支援と意欲企業の掘り起こし、関連機関の連携

4. 札幌市における留学生誘致受入促進への基本的方向性

(1) 「留学生 30 万人計画」と「札幌市での留学生支援」の位置づけ

① 「留学生 30 万人計画」

2020 年までに留学生受け入れ 30 万人を目標

平成 20 年 7 月に文部科学省以下外務省、法務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省の 6 省庁名で発表された「留学生 30 万人計画」は、「アジア、世界との間のヒト・モノ・カネ・情報の流れを拡大するグローバル戦略を展開する一環として、2020 年をめどに受け入れ 30 万人を目指す」とあり、そのためには「留学生への動機付けから。就職など卒業・修了後の進路まで体系的に以下の方針を実施」が趣旨として記されている。

その方策としては

1. 日本留学への誘い ～日本留学の動機付けとワンストップサービスの展開～
2. 入試・入学・入国の入り口改善 ～二言語留学の円滑化～
3. 大学等のグローバル化の推進 ～魅力ある大学づくり～
4. 受入れ環境づくり ～安心して勉学に専念できる環境への取組～
5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進 ～社会のグローバル化～

が述べられ、「関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進する」と記されている。

② 札幌市国際戦略プランにおける「留学生誘致・受け入れ促進」

平成 29 年度までに 1,839 人から 2,700 人誘致目標

「まちづくり戦略ビジョン」に基づき、平成 26 年 3 月に策定された「札幌市国際戦略プラン」では、3 つの基本方針のもと、基本方針 I 「国際競争力の獲得～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み」の取り組みの方向性「グローバル人材の誘致・活用促進」で、「留学生を始めとするグローバル人材を誘致し、道内での就職を支援するほか、国際的な視野を持つ日本人などのグローバル人材の活用を促進します。」と記されている。

また、実施計画第1期の6つの主要プロジェクトのひとつとして「留学生誘致・受け入れ促進」があげられ、目標値などが以下のようにまとめられている。

概要

留学生の誘致を戦略的に行い、将来的には、誘致から受入環境整備（生活支援・交流促進、就職支援）までの一貫した流れの支援を行い、札幌への人材の定着を目指します。

主なターゲット地域

国際的な人材育成を目指す大学や、中国以外の地域にターゲット市場をシフトすることが考えられる企業 のニーズに合わせ、国籍などの多様性を高めるため、東南アジア地域を中心とした誘致活動を展開します。

連携先とそれぞれの役割

札幌市：大学や企業と連携し、ニーズの把握と札幌の魅力を伝える情報提供や就職支援の検討・実施

大学：カリキュラムや単位取得など受入体制の強化

札幌国際プラザ生活支援や文化体験、留学生の地域での活動を促進

実施計画1期での取組

留学生誘致：留学生向けウェブサイト構築、留学関係キーパーソン招聘

体制整備：大学・企業などとの連携促進

受入環境整備：地域での交流事業、札幌大使任命式

就職支援施策の検討

目標値

海外からの留学生数（H24年度）1,839人 目標 ⇒（H29年度）2,700人

うち東南アジアからの留学生数（H24年度）144人 ⇒目標値（H29年度）230人

(2) 目標を達成するための基本的方向性

留学生生活と密着したきめ細かい支援

前章（4）で抽出された課題を前提に、目標達成のための主な基本的方向性を以下にまとめる。

■ 留学生受け入れ都市としての留学生生活に特化した WEB の必要性（誘致対策）

留学大学を決定する際、最初に情報を求めるのは、想定大学の WEB ページであり、継続的な情報収集も WEB ページである一方、その都市の生活情報等については友人・知人・家族等に頼らざるをえない。

先にも指摘されているが、札幌については、来札体験者が相対的に少ないこともあり「観光イメージ」が強く、都市の生活情報が乏しい。従って、観光情報と一線を画した留学生生活に即した WEB 発信が必要不可欠である。

■ 多様な生活支援の必要性（生活支援）

良質な修学環境を支えるため、低額良質な住居提供事業者（空家の提供、社員寮の提供も含）の各種支援、アルバイト受入企業への各種支援などに加えて独自の奨学金などの検討も有効である。

また、各種行事参加の告知や催事会場での多言語表示なども求められている。

■ コミュニティへの参加の必要性（地域コミュニティ交流支援）

留学生の意見によれば、各種国際交流団体等との異文化交流やコミュニケーションの機会は比較的開催されているが、地域住民や商店街など地域コミュニティとの接点が意外と少ないと感じており、ニーズとして地域コミュニティ団体の催事や地域活動への積極的な参加機会が求められている。

確かに留学生在が生活をしている地域コミュニティへの各種活動を通じた参加活動や商店街行事への活用は、同じ住民としての親近感向上や生活を通じた異文化交流に役立つと共に、特長ある地域づくりや身近なグローバル体験の場として効果があると考えられる。

こうした留学生と地域コミュニティが一体となった活動への支援も試みる必要がある。

■ 就職先企業のマッチング支援の必要性（就職支援）

卒業後の札幌や道内企業の就職による定着・移住などを促進するために、インターン企業やオープンデスク企業などを募集ネットワーク化し、情報提供することも必要である。また、逆に就職希望、アルバイト希望の留学生たちの人材バンクによる企業への情報提供も考えられる。こうした採用企業への支援制度などによる誘導法も検討する必要がある。

（３）目標を達成する推進組織の必要性

フェーズに即した産・学・官の連携が必要

留学生誘致受け入れ促進は、単に大学での修学機会拡大に留まらず、留学生の札幌での生活そのもののサポートや卒業後の就職・起業を通じて、グローバル人材としての様々な活動を誘発し地域の今後の有り方に活用する狙いがある。

そうした目的の推進のためには、大学はもちろん関係公共セクションや各種連携団体、企業などが、体系的・有機的に連携することが必要不可欠になってくる。

しかしながら札幌の現状を見る限り、留学生の各フェーズ（留学前の誘致・留学後の生活支援・卒業後の就職・起業支援）に即した組織間連携に乏しく、残念ながら各関係組織が個々に対応しているのが現状である。

3章（４）で留学生の受入の実情や実績から見た札幌の位置づけと課題で指摘しているように、札幌の位置づけは競合他都市と比較して、決して有利な状況ではない。

目標達成のためには他都市とも明確な差別化アピールや施策が必要になってくる。第一ステップとして、フェーズ毎の目的や、関係機関・組織・団体等が担うべき役割を共有し、効果的に留学生支援を実施していくことが求められてくる。

そして、次のステップでは、関係機関・組織・団体等が一体的・一元的に留学生支援を行うことが出来るよう、体系的な方針のもと各フェーズ間を越えた連携体制の構築を検討していくことが必要となる。

次頁に第一ステップとして、フェーズ毎に想定される連携イメージを掲示する。

誘致フェーズ	
団体	想定される役割
受入大学	: 交換留学校や交流校の国際的連携拡大、留学フェア出展等によるプロモーション活動の推進等
札幌市	: 都市規模や生活面からの札幌の魅力発信等
北海道	: 海外拠点やプロモーション活動と連携した広報発信等
その他関係機関	: 関連海外事務所などの連携による情報発信支援等
生活支援フェーズ	
団体	想定される役割
受入大学	: 宿舍整備や民間宿舍確保の円滑化等
札幌市	: 奨学金の支給、住宅提供事業者への支援、多言語表示の促進等
北海道	: 各種奨学金と連携した制度拡充、渡航費支援制度の検討等
札幌国際プラザ	: 生活相談窓口の拡充、外国人支援団体とのネットワーク強化等
民間アパート団体	: 留学生受け入れアパートの拡充や情報提供等
金融機関	: 留学生を対象とした資金貸付等
地域交流支援フェーズ	
団体	想定される役割
区役所	: 地域交流活動へのマッチングや留学生活動機会の検討等
札幌商工会議所	: 留学生人材バンク制度の創設検討、地域交流への支援等
地域関連商店街	: 地域催事への参加促進や活動機会の提供等
連携交流団体・関連 NPO	: 学校訪問活動の実施や社会活動・交流機会の提供等
就職支援フェーズ	
団体	想定される役割
受入大学	: 就職ガイダンスの実施、就職セミナーの開催等
札幌市	: 市内企業の外国人雇用促進支援・海外展開支援等
札幌商工会議所	: 企業と留学生のマッチング活動、インターンシップ企業の拡大支援等
道商連	: 外国人雇用企業の組織化や情報提供等
外国人雇用事業体	: 体験入社機会創設や企業見学会の実施等
連携交流団体・観光協会	: 就職支援セミナーの実施、インバウンドの留学生活用機会の検討等
連絡テーブル	
札幌圏大学国際交流フォーラム	北海道留学生交流推進協議会

【参考】福岡県の事例

■ 福岡県留学サポートセンター運営協議会（FISSC）

設 立：平成 20 年

構 成：11 大学、5 自治体、4 商工会議所、3 民間交流団体

事務局：（財）福岡県国際交流センター 留学生部

事 業：就活セミナー、企業との交流会、就職面談会、個別相談
無料職業紹介事業取得済

■ 福岡地域留学生交流推進協議会

設 立：平成元年

構 成：41 大学等、入局管理局、県、3 市、8 経済団体、10 国際団体

事務局：九州大学

事 業：留学生住宅保証制度等の生活面支援中心

■ （財）福岡よかトピア国際交流財団

設 立：平成 21 年

事 業：就業体験付き奨学金「よかトピア留学生奨学金」の実施、「留学生と企業
の交流サロン」運営

■ 大学ネットワークふるおか

設 立：平成 21 年

構 成：福岡都市圏 20 大学、商工会議所、市

事 業：20 大学の情報共有サイト運営、就職支援プログラム

5. 資料集

- (1) 質問アンケート表
- (2) グループインタビュー進行表

留学生アンケート

Foreign Student Survey

このアンケートは、札幌市国際部の事業として実施し、外国人留学生の傾向分析やニーズの把握を目的に、外国人留学生の来日経緯や日本での生活状況や、就職に関する意識を調査します。

札幌市が今後の留学生支援の方針を決めるための大切な調査です。後輩留学生のためにもご協力お願いいたします。

This survey is carry out as a project of Sapporo City International Department, and the purpose of this survey is to understand of needs of foreign students, analyze foreign student's life in Japan, their understanding of work in Japan etc.

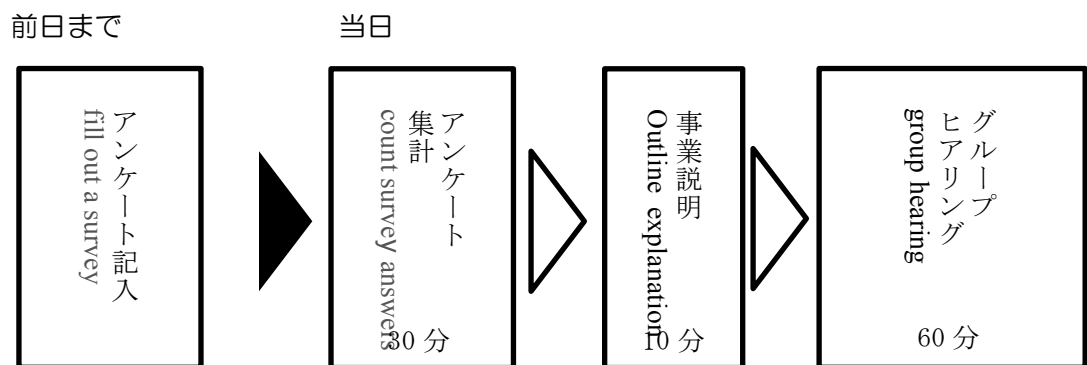
Please cooperate with a survey for the next generation students.

■ 調査の進め方 Format of investigation

この調査では、留学前に思っていたイメージや感じていたこと、北海道・札幌に来てから感じていることなどを教えて下さい。

事前にアンケート用紙への記入後、それをもとにグループ形式でのヒアリング調査を行います。グループヒアリングでは、みなさんが話しやすいよう進行役がつきますので、お気軽に参加してください。

In this survey we would like to know your image and feelings about Hokkaido and Sapporo before coming to study, and also after coming to study.



■ お礼について Participation fee

当日参加してくださった方には、それぞれ¥2,500 の謝金をお支払いします。

For each ¥2,500.

■ 調査主体 Main Organization

札幌市国際部 Sapporo City International Affairs Department

■ 実施機関 Responsible Organization

株式会社 KITABA 担当 東村、廣田

Company KITABA, Mr. Higashimura, Mr. Hirota

■ アンケートについての注意点 Important point of survey

- 各設問に対して、選択肢が数字①～で書かれています。

Answers for each question is written by number as below:

① for each question.

- 当てはまる選択肢を、下段の回答欄に記載してください。

Please select more appropriate choice(s) and write it from high priority to low priority as below:

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

- 複数回答の場合、左側から優先順位が高いものを記載してください。

In case of multiple answers(choices), please write it from high priority to low priority

- その他等（ ）がある選択肢は詳細を記載して下さい。

If you choose “other” (), please write it in details.

■ その他

回答して頂いたアンケートはこの調査にのみ使用し、公開いたしませんのでご安心ください。

We will not public this survey results, please do not hesitate to answer.

■ 留学を考えた理由について Why you wanted to study abroad?

問 1 あなたは、なぜ留学することを考えましたか？

Why did you think you should study abroad?

- ① より専門的な知識を得るため In order to get more specialized knowledge
- ② 他国の文化を体験するため In order to experience the culture of a foreign country
- ③ 他国の言語を学ぶため In order to study (learn) the language of a foreign country
- ④ 他国で職業体験するため In order to have a career experience in the foreign country
- ⑤ 何となく海外留学したかったから I just wanted to study abroad
- ⑥ その他 Others ()

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 2 あなたは、日本以外の留学先の候補国をどこか考えていましたか？

If not Japan, did you have somewhere else candidate country that you wanted to go for study? If yes where?

- ①アジア圏 Asian countries ()
- ②欧米圏 Western countries ()
- ③その他 Others ()

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 3 あなたは、なぜ日本を選びましたか？ Why did you choose Japan?

① 目的の大学があったから There was a target university

② 日本社会に興味があり生活したかった

I am interested in Japanese society and wanted to live

③ 日本語や日本文化を勉強するため

I wanted to study Japanese language and Japanese culture.

④ 日本と関連のある企業で働くため

In order to work at the company which is related with Japan.

⑤ 知人、友人、家族等に進められた

The Acquaintances, friends, my family have recommended me.

⑥ 治安や気候が良く住みやすそうだから

Because this place is a very safe and livable.

⑦ 奨学金を得られたから Because I got scholarship.

⑧ 大学間の交流協定があったから

There was an exchange agreement between universities

⑨ その他 Others (

)

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

■北大（札幌）を選択した理由について

問 4 あなたは、なぜ北海道大学（札幌）へ留学しよう思ったのですか。

Why did you choose Hokkaido University?

① 目的の大学であったから It was my target university

② 日本社会に興味があり生活したかった

I am interested in Japanese society and wanted to live

③ 日本語や日本文化を勉強するため

I wanted to study Japanese language and Japanese culture.

④ 日本と関連のある企業で働くため

In order to work at the company which is related with Japan.

⑤ 知人、友人、家族等に進められた

The Acquaintances, friends, my family have recommended me.

⑥ 治安や気候が良く住みやすそうだから

Because this place is a very safe and livable.

⑦ 奨学金を得られたから Because I got scholarship.

⑧ 大学間の交流協定があったから

There was an exchange agreement between universities

⑨ その他 Others ()

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問5 他都市（外国含む）との比較検討を行った場合、その都市（大学）はどこですか？

Which city (university) was the candidate that you thought you might go? Please write the name(s)

--

■留学に関する情報源について Information sources about studying abroad

留学に関する情報収集先や影響を受けた事柄について教えてください。

We would like to know the information sources that you used to get information about studying abroad.

問 6 あなたが留学したいと考えて、一番初めに情報を得たところはどこですか？

- ① 自国の留学情報 WEB ページ（具体的に…)
Studying-abroad information web sites of your country()
- ② 日本の留学情報 WEB ページ（具体的に…)
Studying-abroad information web sites of Japan ()
- ③ 留学先大学の WEB ページ
The homepage of a target university
- ④ 留学経験者個人の WEB ページ
The web site of the individual person who has experience of studying abroad
- ⑤ 大学（留学担当） Responsible person of university for studying abroad
- ⑥ 大学教授 University professor
- ⑦ JASSO 主催留学フェア Studying-abroad fair sponsored by JASSO
- ⑧ 友人、知人、家族など A friend, acquaintance, family, etc.
- ⑨ その他 Others ()

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 7 留学について検討している際に、主にどのようにして情報収集を行っていましたか？ また、最終的に留学を決定づけた情報はどのようなものでしたか？

When you were considering about studying abroad, how did you mainly gather the information?

Moreover, what kind of information affected to you to choose studying abroad?

- ① 自国の留学情報 WEB ページ（具体的に…）
Studying-abroad information web sites of your country
- ② 日本の留学情報 WEB ページ（具体的に…）
Studying-abroad information web sites of Japan
- ③ 留学先大学の WEB ページ
The homepage of a target university
- ④ 留学経験者個人の WEB ページ
The web site of the individual person who has experience of studying abroad
- ⑤ 大学（留学担当）Responsible person of university for studying abroad
- ⑥ 大学教授 University professor
- ⑦ JASSO 主催留学フェア Studying-abroad fair sponsored by JASSO
- ⑧ 友人、知人、家族など A friend, acquaintance, family, etc.
- ⑨ その他 Others（ ）

回答欄 Answer column								
3	6							

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

決定づけた情報 The information which has effected to you to determine studying abroad

■札幌のイメージについて About the image of Sapporo

気候、街の雰囲気、お出かけスポット、人などのイメージや印象を教えてください。

問 8 留学前、北海道・札幌についてのイメージはどのように感じていましたか？

How had you imagined about Hokkaido and Sapporo before coming here?

問 9 留学前、札幌の生活で何を楽しみにしていましたか？

What were you looking forward to have in life of Sapporo before coming here?

問 10 現在、札幌の良いところ、楽しいと感じることは、どんなものがありますか？

What is the good point, enjoyable point, good side of Sapporo?

問 11 現在、札幌の悪いところ、不足していると感じることは、どんなものがありますか？

What is the bad point, bad side of Sapporo that you are feeling unsatisfaction?

■留学生活について

留学中の生活について、留学前と現在で、生活費や住居、コミュニケーション、学業、休暇の過ごし方などで、不安を感じることを教えてください。

問 12 留学前、留学先の生活でどのような不安を感じていましたか？

Before coming to study what kind of uneasiness did you have?

- ① 生活費 Living expenses（具体的に _____ ）
- ② 学費 University expenses（具体的に _____ ）
- ③ 住居 Residence expenses（具体的に _____ ）
- ④ コミュニケーション Communication
（具体的に _____ ）
- ⑤ 学業 Studies（具体的に _____ ）
- ⑥ 休暇の過ごし方 How to spend free times
（具体的に _____ ）
- ⑦ その他 Others（ _____ ）

回答欄 Answer column						

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 13 現在、住んでいるところは、どのようにして見つけましたか？

How did you find the place that you are living now?

問 14 現在、留学中の生活にどのような課題や不安、不便に感じていることがありますか？

What kind of uneasiness, problems you have with your studying abroad at the present time?

- ① 生活費 Living expenses（具体的に _____ ）
- ② 学費 University expenses（具体的に _____ ）
- ③ 住居 Residence expenses（具体的に _____ ）
- ④ コミュニケーション Communication
（具体的に _____ ）
- ⑤ 学業 Studies（具体的に _____ ）
- ⑥ 休暇の過ごし方 How to spend free times
（具体的に _____ ）
- ⑦ その他 Others（ _____ ）

回答欄 Answer Column

--	--	--	--	--	--	--

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 15 現在、何か地域のコミュニティに所属していますか？所属していればどのような属性のコミュニティですか？（国、住んでいる地域社会、サークル、宗教、ネット上等）

また、そのコミュニティに属することの利益は何ですか？

Do you belong to some of the community of the area? What kind of community is that?

Any profits of belonging to the community?

【所属しているコミュニティ】 The Community that you belong

--

【属することの利益】 Profits of belonging

--

問 16 学業以外で留学生活に求めることは何ですか？

What do you need expect studies in you study life abroad?

■就職に関する意識について About the consciousness about work

卒業後、進学や就職などの進路や分野、国や地域について教えてください。

問 17 卒業後の進路はどのように考えていますか？また、その理由を教えてください。

How do you think the route (course) after graduation? Please teach me the reason again.

- ①札幌で就職したい I want to work in Sapporo.
- ②札幌以外の北海道内で就職したい I want to work in Hokkaido except Sapporo.
- ③道外の日本で就職したい I want to work in Japan (except Hokkaido).
- ④自国に戻り就職したい I want to go back and work in my country.
- ⑤研究を続けたい I want to continue my research
- ⑥その他 Others （ 日中両国をわたる環境保護 NPO のような組織を作りたい）

回答欄 Answer Column						理由 Reason

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 18 就職を希望する業種は何ですか？

What kind of job do you want to get?

問 19 就職を希望する時の問題点は何ですか？

Do you have any problem when you wish a job in Japan?

- ① 生活費 Living expenses（具体的に _____ ）
- ② 学費 University Expenses（具体的に _____ ）
- ③ 住居 Residence Expences（具体的に _____ ）
- ④ コミュニケーション Communication
（具体的に _____ ）
- ⑤ 学業 Studies（具体的に _____ ）
- ⑥ 休暇の過ごし方 How to spend a free time
（具体的に _____ ）
- ⑦ その他 Others（ _____ ）

回答欄						

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 20 就職活動に際し、どのような情報を提供して欲しいですか？

What kind of information you want to get, when you are searching for a job?

- ① 求人情報 Vacant advertisement
- ② 企業等の組織情報 Organization information, including a company etc.
- ③ 日本的人事慣行・システムに関する情報 Information about a Japanese personnel custom and a system
- ④ 就活システムに関する情報
Information about a job-searching-activities system
- ⑤ その他 Others ()

回答欄 Answer column					

←優先順位：高 優先順位：低→

←High priority Low priority→

問 21 就職活動をする場合、どのような人に支援されることが望ましいですか？

When you search for a job, do you want to be supported from someone? What kind of person?

- ① 留学受け入れ部門の職員
An employee of of a studying-abroad acceptance section
- ② 学部・研究科の職員
An employee of bachelor course or graduate course.
- ③ 就職支援専門部局の職員
An employee of an employment support special department
- ④ 学外の公的機関の職員（その種類）
An employee of public institution (not university).
- ⑤ その他 Others ()

回答欄				

←優先順位：高 優先順位：低→

←High priority Low priority→

ここから先の設問は、プライベートな情報を伺いますので、グループヒアリングでは取り扱いません。安心してお答えください。

From here we ask about private information, we will not use it in a group hearing. Please do not hesitate to answer.

問 22 あなたは奨学金の支給を受けていますか？受けている場合、支給元と支給額を教えてください。

Do you have a scholarship? If yes, please let us know from where you get scholarship and how much you get?

【支給元 Scholarship from where】

--

【支給額 Total amount of scholarship】

--

問 23 留学の資金や学費はどのように準備するよう考えていましたか？

What did you think, how to prepare(gather) money of study abroad?

- ① 仕送り Allowance (from family)
- ② アルバイト Part-time job
- ③ 財金 Saving money
- ④ その他 Others ()

回答欄 Answer column			

←優先順位：高 優先順位：低→

←High priority Low priority→

問 24 現在、1 ヶ月の生活費はいくらぐらい掛かっていますか？

How much money do you use for living expenses for one month at the present time?

問 25 現在、生活費はどのように賄っていますか？

How do you cover your living expenses?

① 仕送り Allowance

② アルバイト Part-time job

③ 財金 Saving money

④ その他 Others ()

回答欄 Answer column			

←優先順位：高 優先順位：低→

←High priority Low priority→

■回答者の属性

名前 Name				性別 Gender	
出身国 Hometown (country)		出身地方 Hometown (Area, city)		年齢 Age	
所属 Belonging Department		専攻 Specialty			
How long have you been in Japan?		How long have you been in Hokkaido?			
在 籍 年 数 enrollment year (undergraduate 3, master 1 etc)		直前の在籍機関 University or college that you belonged before Sapporo University			

留学生アンケート

Foreign Student Survey

このアンケートは、札幌市国際部の事業として実施し、外国人留学生の傾向分析やニーズの把握を目的に、外国人留学生の来日経緯や日本での生活状況や、就職に関する意識を調査します。

札幌市が今後の留学生支援の方針を決めるための大切な調査です。後輩留学生のためにもご協力をお願いいたします。

This survey is carry out as a project of Sapporo City International Department, and the purpose of this survey is to understand of needs of foreign students, analize foreign student's life in Japan, their understanding of work in Japan etc.

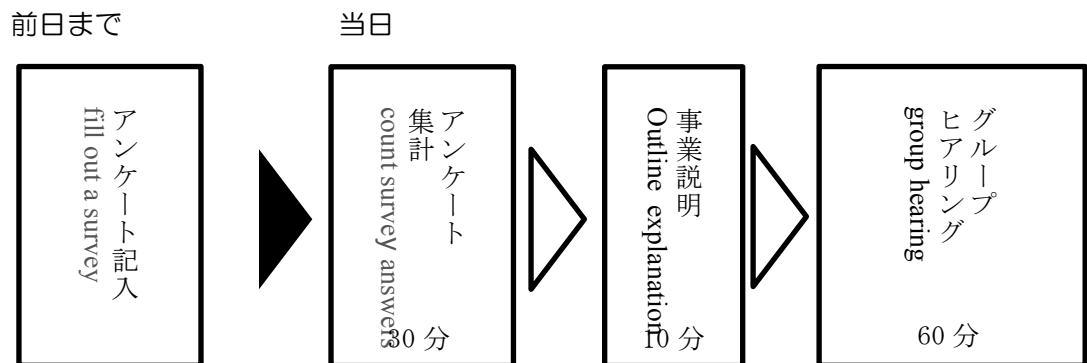
Please cooperate with a survey for the next generation students.

■ 調査の進め方 Format of investigation

この調査では、留学前に思っていたイメージや感じていたこと、日本に来てから感じていることなどを教えて下さい。

事前にアンケート用紙への記入後、それをもとにグループ形式でのヒアリング調査を行います。グループヒアリングでは、みなさんが話しやすいよう進行役がつきますので、お気軽に参加してください。

In this survey we would like to know your image and feelings about Japan before coming to study, and also after coming to study.



■ お礼について Participation fee

当日参加して下さった方には、それぞれ¥2,500 の謝金をお支払いします。

For each ¥2,500.

■ 調査主体 Main Organization

札幌市国際部 Sapporo City International Affairs Department

■ 実施機関 Responsible Organization

株式会社 KITABA 担当 東村、廣田

Company KITABA, Mr. Higashimura, Mr. Hirota

■ アンケートについての注意点 Important point of survey

- 各設問に対して、選択肢が数字①～で書かれています。

Answers for each question is written by number as below:

② for each question.

- 当てはまる選択肢を、下段の回答欄に記載してください。

Please select more appropriate choice(s) and write it from high priority to low priority as below:

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

- 複数回答の場合、左側から優先順位が高いものを記載してください。

In case of multiple answers(choices), please write it from high priority to low priority

- その他等（ ）がある選択肢は詳細を記載して下さい。

If you choose “other” (), please write it in details.

■ その他

回答して頂いたアンケートはこの調査にのみ使用し、公開いたしませんのでご安心ください。

We will not public this survey results, please do not hesitate to answer.

■ 留学を考えた理由について Why you wanted to study abroad?

問 1 あなたは、なぜ留学することを考えましたか？

Why did you think you should study abroad?

- ① より専門的な知識を得るため In order to get more specialized knowledge
- ② 他国の文化を体験するため In order to experience the culture of a foreign country
- ③ 他国の言語を学ぶため In order to study (learn) the language of a foreign country
- ④ 他国で職業体験するため In order to have a career experience in the foreign country
- ⑤ 何となく海外留学したかったから I just wanted to study abroad
- ⑥ その他 Others ()

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 2 あなたは、日本以外の留学先の候補国をどこか考えていましたか？

If not Japan, did you have somewhere else candidate country that you wanted to go for study? If yes where?

- ①アジア圏 Asian countries ()
- ②欧米圏 Western countries ()
- ③その他 Others ()

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 3 あなたは、なぜ日本を選びましたか？ Why did you choose Japan?

① 目的の大学があったから There was a target university

② 日本社会に興味があり生活したかった

I am interested in Japanese society and wanted to live

③ 日本語や日本文化を勉強するため

I wanted to study Japanese language and Japanese culture.

④ 日本と関連のある企業で働くため

In order to work at the company which is related with Japan.

⑤ 知人、友人、家族等に進められた

The Acquaintances, friends, my family have recommended me.

⑥ 治安や気候が良く住みやすそうだから

Because this place is a very safe and livable.

⑦ 奨学金を得られたから Because I got scholarship.

⑧ 大学間の交流協定があったから

There was an exchange agreement between universities

⑨ その他 Others ()

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

■名古屋大学を選択した理由について

問 4 あなたは、なぜ名古屋大学へ留学しようと思ったのですか。

Why did you choose Nagoya University?

① 目的の大学であったから It was my target university

② 日本社会に興味があり生活したかった

I am interested in Japanese society and wanted to live

③ 日本語や日本文化を勉強するため

I wanted to study Japanese language and Japanese culture.

④ 日本と関連のある企業で働くため

In order to work at the company which is related with Japan.

⑤ 知人、友人、家族等に進められた

The Acquaintances, friends, my family have recommended me.

⑥ 治安や気候が良く住みやすそうだから

Because this place is a very safe and livable.

⑦ 奨学金を得られたから Because I got scholarship.

⑧ 大学間の交流協定があったから

There was an exchange agreement between universities

⑨ その他 Others ()

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 5-1 他都市（外国含む）との比較検討を行った場合、その都市（大学）はどこですか？

Which city (university) was the candidate that you thought you might go? Please write the name(s)

--

問 5-2 北海道の大学は候補に入っていましたか？その都市（大学）はどこですか？

Did you make the university in Hokkaido the candidate? Please write the name(s)

--

■留学に関する情報源について Information sources about studying abroad

留学に関する情報収集先や影響を受けた事柄について教えてください。

We would like to know the information sources that you used to get information about studying abroad.

問 6 あなたが留学したいと考えて、一番初めに情報を得たところはどこですか？

- ① 自国の留学情報 WEB ページ（具体的に…)
Studying-abroad information web sites of your country()
- ② 日本の留学情報 WEB ページ（具体的に…)
Studying-abroad information web sites of Japan ()
- ③ 留学先大学の WEB ページ
The homepage of a target university
- ④ 留学経験者個人の WEB ページ
The web site of the individual person who has experience of studying abroad
- ⑤ 大学（留学担当） Responsible person of university for studying abroad
- ⑥ 大学教授 University professor
- ⑦ JASSO 主催留学フェア Studying-abroad fair sponsored by JASSO
- ⑧ 友人、知人、家族など A friend, acquaintance, family, etc.
- ⑨ その他 Others ()

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 7 留学について検討している際に、主にどのようにして情報収集を行っていましたか？ また、最終的に留学を決定づけた情報はどのようなものでしたか？

When you were considering about studying abroad, how did you mainly gather the information?

Moreover, what kind of information affected to you to choose studying abroad?

- ① 自国の留学情報 WEB ページ（具体的に…）
Studying-abroad information web sites of your country
- ② 日本の留学情報 WEB ページ（具体的に…）
Studying-abroad information web sites of Japan
- ③ 留学先大学の WEB ページ
The homepage of a target university
- ④ 留学経験者個人の WEB ページ
The web site of the individual person who has experience of studying abroad
- ⑤ 大学（留学担当）Responsible person of university for studying abroad
- ⑥ 大学教授 University professor
- ⑦ JASSO 主催留学フェア Studying-abroad fair sponsored by JASSO
- ⑧ 友人、知人、家族など A friend, acquaintance, family, etc.
- ⑨ その他 Others（ ）

回答欄 Answer column								

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

決定づけた情報 The information which has effected to you to determine studying abroad

■名古屋のイメージについて About the image of Nagoya

気候、街の雰囲気、お出かけスポット、人などのイメージや印象を教えてください。

問 8 留学前、愛知・名古屋についてのイメージはどのように感じていましたか？

How had you imagined about Aichi and Nagoya before coming here?

問 9 留学前、名古屋の生活で何を楽しみにしていましたか？

What were you looking forward to have in life of Nagoya before coming here?

問 10 現在、名古屋の良いところ、楽しいと感じることは、どんなものがありますか？

What is the good point, enjoyable point, good side of Nagoya?

問 11 現在、名古屋の悪いところ、不足していると感じることはどんなものがありますか？

What is the bad point, bad side of Nagoya that you are feeling unsatisfaction?

■留学生活について

留学中の生活について、留学前と現在で、生活費や住居、コミュニケーション、学業、休暇の過ごし方などで、不安を感じることを教えてください。

問 12 留学前、留学先の生活でどのような不安を感じていましたか？

Before coming to study what kind of uneasiness did you have?

- ① 生活費 Living expenses（具体的に _____ ）
- ② 学費 University expenses（具体的に _____ ）
- ③ 住居 Residence expenses（具体的に _____ ）
- ④ コミュニケーション Communication
（具体的に _____ ）
- ⑤ 学業 Studies（具体的に _____ ）
- ⑥ 休暇の過ごし方 How to spend free times
（具体的に _____ ）
- ⑦ その他 Others（ _____ ）

回答欄 Answer column

--	--	--	--	--	--	--

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 13 現在、住んでいるところは、どのようにして見つけましたか？

How did you find the place that you are living now?

--

問 14 現在、留学中の生活にどのような課題や不安、不便に感じていることがありますか？

What kind of uneasiness, problems you have with your studying abroad at the present time?

- ① 生活費 Living expenses（具体的に _____）
- ② 学費 University expenses（具体的に _____）
- ③ 住居 Residence expenses（具体的に _____）
- ④ コミュニケーション Communication
（具体的に _____）
- ⑤ 学業 Studies（具体的に _____）
- ⑥ 休暇の過ごし方 How to spend free times
（具体的に _____）
- ⑦ その他 Others（ _____）

回答欄 Answer Column

--	--	--	--	--	--	--

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 15 現在、何か地域のコミュニティに所属していますか？所属していればどのような属性のコミュニティですか？（国、住んでいる地域社会、サークル、宗教、ネット上等）

また、そのコミュニティに属することの利益は何ですか？

Do you belong to some of the community of the area? What kind of community is that?

Any profits of belonging to the community?

【所属しているコミュニティ】 The Community that you belong

--

【属することの利益】 Profits of belonging

--

問 16 学業以外で留学生活に求めることは何ですか？

What do you need expect studies in you study life abroad?

--

■就職に関する意識について About the consciousness about work

卒業後、進学や就職などの進路や分野、国や地域について教えてください。

問 17 卒業後の進路はどのように考えていますか？また、その理由を教えてください。

How do you think the route (course) after graduation? Please teach me the reason again.

- ①名古屋で就職したい I want to work in Nagoya.
- ②名古屋以外の中部地方で就職したい I want to work in Chubu except Nagoya.
- ③日本で就職したい I want to work in Japan.
- ④自国に戻り就職したい I want to go back and wok in my country.
- ⑤研究を続けたい I want to continue my research
- ⑥その他 Others （ 日中両国をわたる環境保護 NPO のような組織を作りたい）

回答欄 Answer Column						理由 Reason

←優先順位：高 優先順位：低→

←High priority Low priority→

問 18 就職を希望する業種は何ですか？

What kind of job do you want to get?

--

問 19 就職を希望する時の問題点は何ですか？

Do you have any problem when you wish a job in Japan?

- ⑧ 生活費 Living expenses（具体的に _____）
- ⑨ 学費 University Expenses（具体的に _____）
- ⑩ 住居 Residence Expenses（具体的に _____）
- ⑪ コミュニケーション Communication
（具体的に _____）
- ⑫ 学業 Studies（具体的に _____）
- ⑬ 休暇の過ごし方 How to spend a free time
（具体的に _____）
- ⑭ その他 Others（ _____）

回答欄						

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 20 就職活動に際し、どのような情報を提供して欲しいですか？

What kind of information you want to get, when you are searching for a job?

- ⑥ 求人情報 Vacant advertisement
- ⑦ 企業等の組織情報 Organization information, including a company etc.
- ⑧ 日本的人事慣行・システムに関する情報 Information about a Japanese personnel custom and a system
- ⑨ 就活システムに関する情報
Information about a job-searching-activities system
- ⑩ その他 Others（ _____）

回答欄 Answer column					

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 21 就職活動をする場合、どのような人に支援されることが望ましいですか？

When you search for a job, do you want to be supported from someone? What kind of person?

① 留学受け入れ部門の職員

An employee of of a studying-abroad acceptance section

② 学部・研究科の職員

An employee of bachelor course or graduate course.

③ 就職支援専門部局の職員

An employee of an employment support special department

④ 学外の公的機関の職員（その種類)

An employee of public institution (not university).

⑤ その他 Others ()

回答欄				

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

ここから先の設問は、プライベートな情報を伺いますので、グループヒアリングでは取り扱いません。安心してお答えください。

From here we ask about private information, we will not use it in a group hearing. Please do not hesitate to answer.

問 22 あなたは奨学金の支給を受けていますか？受けている場合、支給元と支給額を教えてください。

Do you have a scholarship? If yes, please let us know from where you get scholarship and how much you get?

【支給元 Scholarship from where】

--

【支給額 Total amount of scholarship】

--

問 23 留学の資金や学費はどのように準備するよう考えていましたか？

What did you think, how to prepare(gather) money of study abroad?

① 仕送り Allowance (from family)

② アルバイト Part-time job

③ 財金 Saving money

④ その他 Others ()

回答欄 Answer column			

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

問 24 現在、1ヶ月の生活費はいくらぐらい掛かっていますか？

How much money do you use for living expenses for one month at the present time?

問 25 現在、生活費はどのように賄っていますか？

How do you cover your living expenses?

① 仕送り Allowance

② アルバイト Part-time job

③ 財金 Saving money

④ その他 Others ()

回答欄 Answer column			

←優先順位：高

優先順位：低→

←High priority

Low priority→

■回答者の属性

名前 Name				性別 Gender	
出身国 Hometown (country)		出身地方 Hometown (Area, city)		年齢 Age	
所属 Belonging Department		専攻 Specialty			
How long have you been in Japan?		How long have you been in Nagoya?			
在 籍 年 数 enrollment year (undergraduate 3, master 1 etc)		直前の在籍機関 University or college that you belonged before Nagoya University			

概 要

- 日 時 ／ 12月17日（水） PM3:30～5:00。
- 場 所 ／ 九州大学芸術工学部 511 教室
- 進行・記録 ／ 東村, 広田 (KITABA)

準 備

- 机配置・飲物手配
- 記録 & テープ & 写真

進 行

15:30	開会挨拶（東村）	5 分
	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査目的 ● スタッフ紹介 ● 謝金&領収書の説明 	
15:35	自己紹介	15 分
	<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、所属（専攻） ● 来る前の学校のある街 及 家のある街 <p>Q【福岡のイメージは？（来る前と、来て見て）】</p>	
15:50	何故、留学を？ 何故、九州（大）を？	15 分
	<p>Q【何故、留学をしようと思った？】 【何故、日本それも福岡に決めた？】</p> <p>Q【日本以外、日本の九州（大）以外の候補は？】</p> <p>Q【日本や九州（大）の情報はどこで、どんな風に入手？】</p>	

	<p>Q【九州（大）に決めるにあたって 誰にアドバイスをもらった？ どんな意見？】</p> <p>Q【福岡に来て、日本のイメージは変わりましたか？】</p>
16:05	北海道や札幌のイメージは？ 15 分
	<p>Q【北海道や札幌には、どんなイメージを？ また、知っている場所や施設や行事は？】</p> <p>Q【行ったことはある？ 行ってみたい？】</p> <p>Q【留学先としての検討は？ （何故、札幌ではなく福岡を選んだ？）】</p>
16:20	福岡に来ての感想 15 分
	<p>Q【親や友達はふく福岡に来たことはある？ 案内するとしたら、何処へ？】</p> <p>Q【日本なら、何処に旅行したい？】</p> <p>Q【福岡に来て、困っていることは？ （勉強や生活、友達づきあい 等）】</p>

16:35	日本に（福岡に）もっと留学生を増やすには 10 分
	<p>Q【日本に（福岡に）もっと留学生を増やすには どんなことが必要？】</p> <p>Q【その他】</p>
16:40	閉会 10 分
	<ul style="list-style-type: none"> ● 領収書回収、アルバイト代支払 ● （アンケート補足）
16:55	終了